

令和5年度(2023年度)

国際教育

地球市民を地域とともに育てよう Part 22

報告書



公益財団法人滋賀県国際協会

目 次

◇ 目 次 1

実績報告

◇ 国際教育ワークショップ 2

地球市民を地域とともに育てよう Part 22

「身近なことから世界と私を考える学びを創る

～平和・環境へまなざしを向けて～」

講 師 にしうえ じゅいち
西上 壽一 さん

地球市民フォーラムなら運営委員、開発教育研究会運営委員

奈良県ストップ地球温暖化推進委員

開催日 2024年1月13日(土)

会 場 ピアザ淡海

主 催 公益財団法人滋賀県国際協会

共 催 JICA関西 国際教育研究会 Glocal net Shiga

◇ 国際教育教材体験フェア in 滋賀 2023 15

開催日 2023年8月9日(水)

会 場 ピアザ淡海

主 催 公益財団法人滋賀県国際協会

共 催 独立行政法人国際協力機構関西センター (JICA関西)

協 力 国際教育研究会 Glocal net Shiga

資料集

◇ 滋賀県における外国人人口統計 28

◇ 国際教育研究会 Glocal net Shiga 活動報告 29

◇ 国際教育・開発教育貸出教材の紹介 31

実践報告

国際教育ワークショップ 報告

地球市民を地域とともに育てよう Part 22

「身近なことから世界と私を考える学びを創る
～平和・環境へまなざしを向けて～」

国際教育教材体験フェアin 滋賀 2023報告

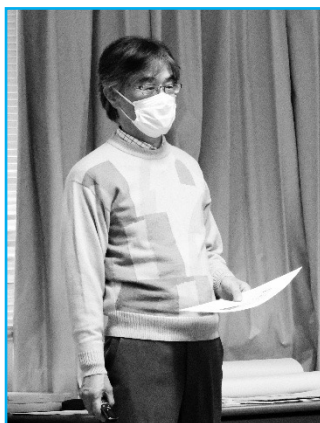
身近なことから世界と私を考える学びを創る ～平和・環境へまなざしを向けて～

開催日：2024年1月13日（土） 9：50～16：45

会場：ピアザ淡海 207会議室（大津市） 参加者：18人

主催：公益財団法人滋賀県国際協会 共催：JICA関西 国際教育研究会 Glocal net Shiga

講師紹介



地球市民フォーラムなら運営委員、開発教育研究会運営委員
奈良県ストップ地球温暖化推進委員

にしうえ じゅいち
西上 壽一さん

1958年奈良県生まれ。2018年まで小・中学校教員、そのうち11年間全国人権教育研究協議会専門委員、研究員。現在県内小・中学校で授業づくりを共同研究。地球市民フォーラムなら運営委員、開発教育研究会運営委員、奈良県ストップ地球温暖化推進委員。

共著「新しい開発教育の進め方Ⅱ・難民」「参加型でつくるスタディツアーから開発教育教材へ」「身近なことから世界と私を考える授業Ⅰ～Ⅲ」

午前の部

1. アイスブレイク

(1) 自己紹介

「①名前」「②今一番気になること」「③普段何してる?」「④今日学びたいこと」を伝えながら自己紹介。

まず講師の西上さんが自己紹介をされた：

退職後、小中学校の授業づくりに対するアドバイスを رفتりしている。また、地球温暖化についてワークショップをつくり、依頼があれ

ば、学校等で授業を実践したりしている。エジプトと奈良県内の小学生がオンラインで交流するお手伝いをしたり、外国人住民が増え、そうした人たちとの共生の教材づくりなどでも必要なので取り組んでいる。気になることは、パレスチナのこと。連日、ニュースなどで流れていて、頭の中から離れない。今日は、みなさんの声をたくさん聴かせてもらいながら滋賀の取組からも学ばせていただきたい。

2. なぜ参加型学習？

先日、小学2年生の人権教育の授業を見せてもらった。「つらいことあるねんな」という教材を読み、ペアでの話を聞いていると、「お父さんがお母さんの髪の毛を引っ張りまわしているところを見た」「別居中だということを外では話してはいけないと言われていた」などと自らのつらさを語る声が続いた。授業のあと、子どもたちは普段何もないようにふるまっている

が、子どもたちが、一人で抱えきれなくなった時は、いつでも人に話せるようにしてあげられたらと教員たちと話した。

私は、人権教育から開発教育・参加型学習に入っていった。「差別はいけない、こんな差別がある」という一方通行の答えがあるような授業をしていたが、ある日、「また次の時間人権やてえ」という子どもたちのささやきが耳に

入ってきた。自分の授業していることが子どもたちの中に入っていったいないとその時実感し

た。これが、参加型学習を取り入れる一つのきっかけとなった。



聞いたことは、「忘れる」

見たことは、「覚える」

(印象に残ったことは残る、覚える

関心のないことは抜けていく)

やったことは「理解する」

(心に残る 身につく わかる)

「見つけた」ことは、自分のものになる⇒ [主体的な学び](#)

解説

途上国で、感染症の原因はトイレが衛生的に悪いからだと伝えるため、外部の人間がトイレを作るように言っても現地の人たちは作らなかった。なぜなら、トイレを知らなかったから。そこで、実際のトイレを見せてみたが、やっぱり作ろうとしない。作り方がわからないのだと思い、作り方を教えてみたが、やっぱり作らなかったという。これは、現地の人たちにとって、「自分のもの」になっていなかったためである。

ブラジルで識字教育を始めた「識字教育の父」と呼ばれるパウロ フレイレは、文字を教える時に、まずは自分たちになぜ文字を覚える必要があるかを見出させるところから始めたという。一方的な教え込みではなく、**自分で見つける・気づくことができる授業づくりが一番大**

切だと気付いた。それ以来、ワークショップをつくるときには、これを土台にしている。

参加型のルール確認

特に、話をよく聴くことが大事。

アメリカの思想家ジョン デューイは、「民主主義は、聴くことから始まる」と言っている。アパルトヘイトと闘い続け、南アフリカ大統領となったネルソン マンデラは、多くの人の陳情者の話を丁寧に聴き、自分の思うところを述べた後、間を置くことを大事にしていたという。「粘り強く対話すれば対立を乗り越えられる」と、ソマリアやイエメンで紛争解決に取り組んでいる永井 陽右は、「憎しみをほどく鍵は第三者との対話だ」と言っている。

3. 話し合いと対話のちがい

(1) グループ分け「シャッフルゲーム」

□ ……ファシリテーションのコツ

韓国の平和教育活動NPO「ピースモモ」が作ったアクティビティ。

□ **グループ分けのポイントは、仲良し同志のグループにならないよう交ぜる工夫をすること。**

【手順】

- ① 円になった座席に、参加人数よりも一つ多いイスを用意する。
- ② 空いた席を埋めるために、誰かを招待したい。空いた席の隣同志の人が手をつなぎ、誰かに空いている席に座ってもらうよう声を掛けに行く。
- ③ 招待された人を真ん中に挟んで手をつなぎ、席に連れていく。
- ④ この①～③を繰り返し、テンポよく続けていく。

□ **永遠に続けることができるが、誘われていない人がいないかも配慮するとよいだろう。**



(2) グループ活動「話し合い」と「対話」のちがいについて

3人一組のグループで着座し、「話し合い」と「対話」のちがいについてディスカッション

❗ グループディスカッションでの話の区切り時を見定めるタイミングは難しい。

2～3のグループが終わったところを見計らって強制的に終了するぐらいでよい。

グループで出た意見を全体共有

「話し合い」とは：

- 意見を出し合う
- 結論がある
- 目的をもって、到達する
- 自分の思いを話す
- テーマがあって何か答えを出す

「対話」とは：

- より話し合いをしましようという方がやりやすい
- 話し合いの過程を大事にしているイメージ
- 対等に話を聞き、話すことをするイメージ
- キャッチボールがある
- 自分の内面を出したり、インとアウトがあり、出口が見つかるかもしれないというイメージ

解説

「すぐに答えがない、みんなで導き出す。これが対話だと思う」。

子どもたちは、話し合いはできるが、対話する力をつけてあげなくてはいけない。災害や紛争のニュースなど流れてくる情報だけでは不安なので、他者と対話し、自己内対話ができるようになることを目指す。そのためには、対話を通して互いに引き出し合い、自分を超え新しいことを見つけられるようになってほしい。第三者が聴き合おうと声がけすることで、安心して話せる、大丈夫だと思える場をつくることが大事。多様性のある社会をつくるためには、問いを持ち続けおかしいことにはおかしいと言えることが大事である。特に、紛争解決などのためには、これが大事だと思う。ウクライナ紛争が

始まったときに、「なんでやねん！」という思いになり、対話する場をつくりたいと思い、作ったワークもあとで行う予定。

「話し合い」と「対話」のちがい

話し合い

- ・自分の考えの発表のし合い
- ・わかったこと、自信のあることの出し合い
- ・課題がやさしい時
- ・大きな声で自信を持って言う
- ・自分の考えは変わらない

対話

- ・はっきりとした答えのないこと
- ・自信のないこと
- ・話す前と後で考えが変わることがある
- ・対話を通じてそれぞれが自分を超えることを願っている
- ・沈黙の交換もあり

4. パレスチナを知ろう！

(1) クイズ「世界で進行中の紛争は？」

現在、世界では紛争はいくつあるだろうか？ 国と国、国の中の地域と地域の紛争も含める。

【回答の選択肢・回答者数】

- 50以下 5人
- 50～100 5人
- 100以上 10人
- 200 0人
- 200以上 3人

参加者（どこからが紛争なのか？ 戦争の準備をしている状態は？ルワンダでは、フライパンやトンカチなどで闘ったという話も聞くと、家庭内暴力も紛争か？）

「人はいつから紛争しているか？」

実に、原始時代からホモサピエンスの頭蓋骨に暴力の痕跡が見つっている。

正解は187

(スウェーデン ウプサラ大学のデータベースより)

一つの国の中でも紛争は起こっている。アフリカ、南アジア、東南アジア、南米に多い傾向がある。

国と国との紛争のデータによると、2010年頃から世界で急激に紛争が増加している。なぜか？⇒ 大きくはリーマンショックが契機と

なった。「世界の警察」だったアメリカが不景気になり、その役割を果たせなくなったためと言われている。

シリアでは、干ばつで飢餓が増え、内戦を起こしているとも言われているので、気候変動も要因として考えられる。

(2) パレスチナを知ろう

最新刊「身近なことから世界と私を考える授業Ⅲ」より

1) 地図から学ぶパレスチナ

配布された中東の白地図に、

- ① イスラエルとパレスチナに斜線を引こう
- ② 周辺の国を見つけよう
(ヨルダン・レバノン・シリア・エジプト・イラク)
イスラエルとパレスチナには、どのような問題があるのか？歴史的なことを知らないと理解できない。



2) 年代のカードと地図のカードを合わせてみよう

国カードと地図カードそれぞれ6枚ずつが配布された。時代を考えながら、正しい組み合わせを考える。

⇒ ①ダヴィデ王国 と ⑥イギリス帝国は全グループ正解。

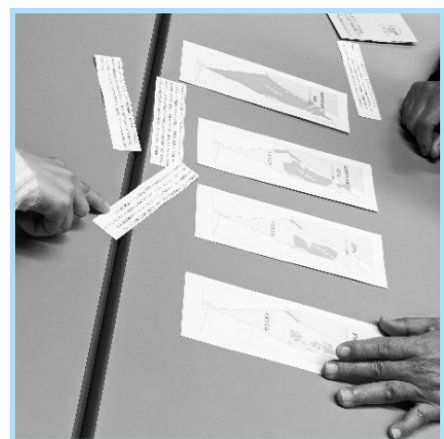
1000年前にローマ帝国が入ってきて、迫害されユダヤ人が離散した。一番大きかったのが、大英帝国が入ってきたところで、問題が複雑化していった。今のイスラエルが、紛争の中心になっている。「肥沃な三日月地帯」の一部に位置し、交易の交流点となっていたため多くの民族の争いの場となった。



3) パレスチナの変遷を学ぶ

大英帝国が入ってきた頃、第二次世界大戦後のイスラエル・パレスチナの地図と説明文それぞれ4枚をマッチングさせる。一人が説明文を読み、順に回していく。

ニュースでも最近になってようやくイスラエルによるパレスチナ迫害の歴史を報じるようになってきたので、割とみなさん早く完成されていたように感じる。



解説

シオニズム運動（パレスチナにユダヤ人国家をつくらうというもの）の広まりがあり、ユダヤ人移民がパレスチナに入っていた。国連決議で半分に分割されることになった。その後、イス

ラエルが誕生すると、シリアなどがそれに反対。中東戦争が勃発した。イスラエルが勝ち続け、占領地を拡大していった。すぐ近くに敵がいると安心できないので、どんどん入植地を広

げていった。1993年イスラエルがPLOの暫定自治を認めるオスロ合意に調印。ラビン首相とアラファト議長が握手した。ラビン首相は平和的に解決したいという考え方だったが、イスラエルの中には、この合意に反対する人たちも多く、ラビン首相を儀式によってユダヤ教から追放した。その数週間後、信奉者によりラビン首

相は暗殺された。ハマスは、解放勢力の一つ。住民に対しても福祉活動などに取り組んでいたため支持されている。自爆攻撃を防ぐという名目で、ガザは天井のない監獄といわれるほど高い壁が建設されている。イスラエルからは多くの爆弾が降ってくるという。

4) グループ活動 歴史的背景を知ったうえで、感想をグループの中で共有する。

グループからの意見

- 戦争になっているが、これまでに深い歴史的背景があることを知り、誰も悪くない、他国などの影響を受けていることを知った。
- ニュースで流れてくる情報は悲惨だなと思うことしかなかったが、こういう歴史的な流れがあったこと、今の戦争の背景が理解できるようになった。
- 劇的な変化がある地域なのだということ、この土地に暮らしている人たちがこの変化についていけないのではないかと、暮らし続けられる人たちも限られていくのではないかと思った。
- パレスチナの占有率が25%の段階でイスラエルなり、パレスチナに妥協の余地があったのではないかと思った。ただ彼らの神話の中には「約束の地」があり、そこに帰るという譲れない根本的なものがあるので、そう簡単にはいかないのかなと思った。
- 長い歴史背景があり、英国が入ったことで、より問題が複雑化したことがわかる。どちらにも宗教的意味があると思う。

解説

自分事と捉えられるようになるためには、距離的だけでなく、時間的な近さということも関わってくる。**そのため、時事的な問題を扱うことに意味がある。**

ウクライナ紛争が起こったことで、パレスチナ問題が忘れられた。トランプ大統領がイスラエルとつながり、パレスチナが不利になっていってしまった。そして、パレスチナが置き去りになっていってしまった。これほどの犠牲を払わないと、世界から関心を向けてもらえないことに心が痛む。

朝日新聞の記事の紹介

ヘブライ大学で対話から始めようと12月に始めているという記事。

戦争が始まる前から、イスラエルには平和的な解決を望む人たちがいるので、そうした人たちと私たちがつながっていくということもでき

るのではないだろうか。こうした動きについては、最新刊にも収録している。

ワークショップをつくるときに気を付けなくてはならないこととして、フェイクニュースがある。ネットでは、戦争の被害に遭った子どもたちの写真などを見ることがあるが、実際にはフェイクだったものもあるので、**信頼のおける人たちからの情報を使うことが大事**で、現地に足を運ぶことができなくても、顔と顔をつなぐことで信頼関係を築くことも可能となる。私は、辻真一さんの知り合いで、アメリカ在住の方のHP等を参考に資料を入手している。「イスラエル＝ユダヤではない。」何が真実か。まだはっきりしたことはわからないが、信頼できるリソースを見つけ、少しずつ前に進められるとよいだろう。

午後の部

5. だれが未来を決めるのか？ ～体験的に学ぶ世界の今～

(1) アイスブレイク「魂で握手」

握手（シェイクハンド）をする。できるだけたくさんの方と握手を交わす。

[手順]

- ① まず握る回数（1 or 2 or 3回）から何回握るかを考える。
- ② 出会った人と決めた回数の握手を交わす。
- ③ 同じ回数の握手を交わしたら、ご縁があったということで、「平和だなと思うこと、感じる時について」意見交換する。
- ④ 回数が合わなければ、別の方のところに移動してもよい。



何人と話せたか？10人と会話した人もいれば、1人だけ話せた人もいた。

平和だなと思うこと・感じる時

- お正月に家族で、みんなの幸せを願った。
- 一日のルーティーンが無事に過ごせたこと。
- 年始の初詣ができた幸せ。
- 家族と外食に出かけて楽しい時間を過ごせた。

⇒幸せな日常が過ごせることに幸せを感じる人も多いのかと思う。

ここから、ウクライナについて取り上げたい。ユーラさんが考える「平和とは？」、右の項目をあげられている。

ユーラ・トロプチェン(19)

イワン・フランク記念リビウ国立大学

- ・あらゆる敵から独立していること
- ・何の恐れもなく幸せに暮らせること
- ・いつ命が尽きるかわからないという心配がないこと
- ・みんなが一緒に居られること
- ・何の心配もせずに眠りにつくことができること

(2) グループ活動「難民 逃げる」

❗ 既成の教材をアレンジするというのも、時間的に有効かと思われる。

1) 持ち出す荷物を相談する

1グループが一家族という設定とし、誰がどの家族の役割になるか相談する。

“敵が迫ってきている。あなたも殺されるかもしれない。”

❗ 効果音 銃声などで臨場感を出す。

逃げなくてはならない。何を持って逃げるか？配布する持ち出し荷物カードから選ぼう。カバンに入れられる数には制限がある。



第1場面 カバン2つに入るもの考える

カードにはないが、持ち出したいものがあれば追加で考えるのもOK

各グループから出た追加したもの例：

ペット、充電器（手回し）、ヘルメット、ソーラー充電器、手回し充電+ラジオ+ライト、

車、救急箱、コンタクト、生理用品、マッチ など
慌てていると、なかなか何が必要になるか思いつかない。

第2場面 満員電車に乗るために、グループで話し合って荷物を半分に減らす

長い時間歩いて、駅にたどり着いた。駅には多くの人であふれ返っている。あと5分で電車は出発する。カバンを一つに絞り込まなくてはならない。

第3場面 国境に着いて、パスポートを確認される

列車に2日間揺られて、やっと隣国との国境に辿り着いた。国境警備隊が検問している。パスポートを持って審査を受ける。

読めない文字の書類を記入して提出しなければならない。



第4場面 逃げる途中で、家族が病気になり食料や衣料品が減る

ようやく安全な国に入り、徒歩で移動。家族の一人が熱を出し、動けなくなってしまった。その土地で長く滞在しなくてはならなくなって、食料、水を使い果たしてしまった。手持ちカードから抜いていく。

第5場面 避難所に到着

命からがら、避難所にたどり着いた。ようやく食料などを手に入れることができた。しかし、今までに比べると、とても不自由な生活が始まった。いつまで続くかわからない状況…

2) グループ活動「これまで避難する過程で、どのような心境の変化があったか？」

- 追い込まれると家族であっても、関係性がこじれたりする可能性もあるなと思った。となりの家族から筆記用具を貸してほしいと言われたが、様子を見て、取られないように自分たちのところに来て書くよう伝えた。やさしいだけではやっていけない。
- 自分のことで精一杯になってしまう。スマホがないと代わりになるものをたくさん持っていないとならないと感じた。スマホがない時代は、もっとたくさんものを持っていかないと行けなかったのではないかと思った。現金自体は価値がなくなるということを理解した。金とパスポートさえあれば、審査官が書いてくれると思ったがはねられた。
- シリア、ヨルダンなどからの避難民は厳しく跳ね返された。
- パスポートと簡単なことが書いていけば通してよいと言われたが、皆さん袖の下を持ってきていた。(国境警備隊役)
- カバンが一つになったときに、ペットやアルバムを残していくしるめたさ。クレジットカードを置いて、現金を持つようにしたが、国が変われば価値がなくなると、追い込まれて判断できなかった。
- カバン2つの時は、楽しみながら選んでいたが、1つになったときは緊張感をもって選んでいた。ペットを連れていくかどうかは、かなりもめた。

解説

ウクライナで、一週間地下で過ごしたおばあさん。持っていたのは、下着と高血圧の薬、現金のみだった。マリウポリの製鉄所の地下で過ごしていた男性。脱出して数日間、昼歩いて夜は空き家で過ごす。ペットと一緒に戦闘の中を連れて行こうとしたが、驚いてどこかへ逃げていってしまった。街でバッタリ出会ったロシア兵に「殺してくれ！」と叫んだら、ロシア兵は黙って去って行ったという。

これを身近に感じるためにどうすればよいか？



6. 日本で総動員令が出たらどうする？

ウクライナでは、総動員令が出ていて18～60歳の男性は召集の可能性に備え、全員出国禁止。（一部、除外する例もあり。）

一旦、家族の設定を解くので、個人の立場に戻って、「日本で総動員令が出たとしたら、あなたはどうか？」についてグループで意見交換しましょう。ウクライナの人たちは命の選択に迫られているということについて、彼らの心境になかなかとり着けないのではないかと思います。自分なら納得できないとか、どうしたらよいか判断できないという結論になるかと思うが、今の日本でもこうしたことを話す時間が重要だと思っている。

参加者からの意見

- 兵隊として行かなくてはならないとなっても、好きな人がいると、逃げたい気持ちになるが、国がそうした方向に動いていると、行かざるを得なくなるのかと思う。
- 自分が行かないという選択をした場合、周りからの目や対応が厳しいのではないだろうか。「非国民」という扱いを受けるのではないかと心配になった。
- 有事の時に国家権力に従うのは危ないと考えているので、自分は従わないと思う。
- 不安。子どもたちの将来を案じる。
- 自分の子どもたちのことを考えると、行ってほしくはないが、現実的に国に背くというのは難しいのだろうと思う。

解説

ウクライナでは、反対の署名が27,000人分集まった。しかし、ゼレンスキー大統領は、これに対し「兵士として戦え」「恥を知れ」と批判した。実際、800万人が国外へ避難、実に国民の5人に1人が避難している。その中には、法に背き、逃げた人も含まれている。

日本でも第2次世界大戦中に、戦争に行かない道を選び、国籍を抹消された人がいると聞いたことがある。



7. 難民について

難民支援協会HP「難民はここにいます」 <https://www.refugees-in-japan.com/> の紹介

(1) 部屋の四隅

質問に対して、部屋の四隅に設定された回答の選択肢から自分の答えを選び、移動する。

① 世界の難民の数は？ 参考：2000年 2000万人

選択肢： A 5倍 B 2倍 C 同じくらい D 減っている

答…「A」 一億人を超えている（2023年9月）

② 日本からの難民はいる？（日本国籍所持者）

選択肢： A 100人以上 B 少しはいる C 多分いない D いるはずがない

答…「A」 175人（亡命者 日本出身の難民39人 難民認定を待っている日本人136人）

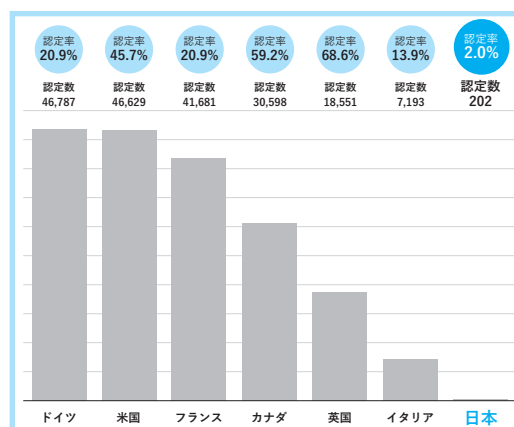
ヘイトクライムの対象となっている人（在日コリアン、部落出身者）。理由は公表されていないので推察することしかできない。

③ 難民は、日本に毎年何人くらい来ている？

選択肢： A 10,000人くらい B 5,000人 C 100人 D 50人

答…「A」 2017年19,000人 2023年は増加
（9月までで11,000人を超えている。）

東京などでは、難民の路上生活者がいる。日本の難民認定割合2%。認められないと不法滞在となり、国外退去となってしまふ。2020年に認定されたのは、ほとんどがアフガニスタン人。日系機関で働いていた人たちを優先して許可を出した。ウクライナからは、2,486人で避難者という扱いをし二重基準になっている。



日本に暮らす難民 ケーシーさんからの動画を視聴。「難民になるということは、世界のどこにでも起こりうること。日本には、難民、外国人を温かい心で受け入れてほしい。」というメッセージだった。

教材づくりのコツということで紹介すると、私はよく図書館で絵本や図鑑などをたくさん借りてくる。子どもたちにわかりやすいように、そうしたところから素材を探している。以下の本を紹介したい。



安田菜津紀さんの著書「故郷の味は海をこえて「難民」として日本に生きる」（ポプラ社）

料理写真と出身国の情報と日本での状況が書かれている。難民が日本で普通に暮らしていることを伝える一冊。

8. 食から考える

(1) フォトランゲージ 写真集『Daily Bread』より

JICAの情報誌でも紹介された世界の子どもたちが1週間に食べたものと一緒に撮影された写真集。様々な国や地域の子どもたちの食生活から、いろいろな特徴などが見えてくる。

各グループで配られた写真を見て、気づいたことを考える。

インド…伝統食が残っている シチリア…フルーツが多い
ロサンゼルス…ブラジリアと同じで、お菓子が多い など



写真を見た感想等の共有

- 日本で暮らすブラジル人に、「栄養バランスの良いものを食べてね」と伝えたら、「それは日本の文化だから押し付けないで」と言われたことがある。
- アメリカさんの食事は、バランスが取れてそう。エンリコさんは加工品が多い。インドは、スパイスが多い。ロサンゼルスは、

偏った食事をとっていて、健康に良いのだろうか?と思う。

- 家庭での生活スタイルが表されていると思うので、国の状況まで反映されていると考えていいかは疑問。子どもはこれを食べているが、親も同じような食生活なのかはこの写真からはわからない。

解説

野菜が不足し、都会から遠い地域の子たちでもファストフードやジャンクフードが浸透している。低所得者の方が健康的な食生活を送っているように見て取れる。食生活には所得格差が反映される。アメリカの写真では生鮮食料品が見当たらない。加工食品で育てているところが多

い。

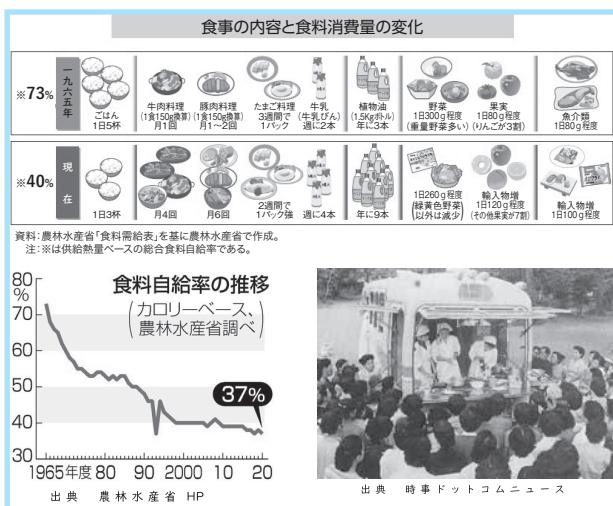
日本の学校で、一週間の食生活を記録することを宿題にしたが、発表は家庭の状況がわかるのでできないと言われたことがある。日本の食生活は、いつからこうなってしまったのか考えていこう。

(2) 日本の食生活の変化

日本の食生活がいつ頃から、どのように変わってきたのか?食料自給率の低下との関係は?見出したことを書き出してみよう。

参加者からの意見

- ご飯は食べなくなっている。肉類は増えているが、個人的には鶏肉の方が多い。油で料理すると美味しいので、油の量が増えてきている。果物も加工品も輸入品が多くなり変わってきている。
- 戦後の日本で栄養の良いもの、アメリカと



の関係、日本の食は豊かになったが、このままでは輸入ばかり。

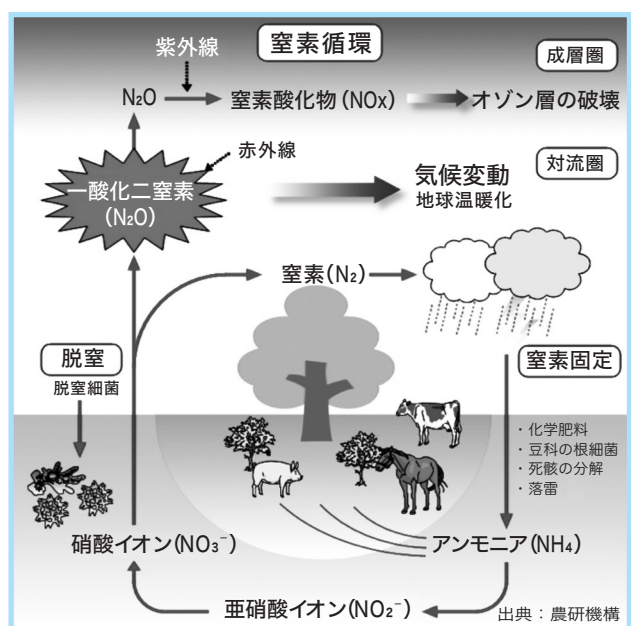
- 主食のコメが多かったが、今はおかずの方が多くなっている。小麦を含めると自給率が下がる。家畜のえさも含めると、さらに下がっていくのではないかと。
- 畜産を大学で専攻していた。大学時代からこのテーマが出ていた。アメリカの農産物の余剰分を家畜に食べさせることを日本も受け入れた。牛乳、卵が安く手に入るようになったが、日本ではコメの消費が減り、コメよりもパン、麺となり、農業も成り立たなくなってしまう。畜産は放牧で暮らしていたが、生産性を上げるために飼料を与えるスタイルになってきたが、輸入飼料に頼ってきたために、アメリカがトウモロコシをエネルギーに使うようになり、日本に入ってきてづらい時代になっている。私たちも選択していかないと。

一番良い栄養だった時代は、1965年。この時代の内容が健康的な和食というイメージ。日本の企業も、アメリカに乗っかった。

飼料用の穀物が輸入されてきた。それに呼応

するために生産量が上がっている。コーンスターチなどにも入っていて、日本人は歩くトウモロコシと言われている。放牧から工業的な畜産となり、牧場がトウモロコシ畑へ変わっている。

農業は気候危機を起こしている原因の一つ。工業的畜産の糞尿から大量の一酸化二窒素 (N_2O) が出ていて気候変動を起こしている。気候危機について、リンや窒素が増えていて高リスクとなっているため、放牧に戻ろう、耕さない農業というのも近年増えてきている。



(出典：農研機構)

9. 環境について考える

(1) フォトランゲージ これはなんだか考えよう！

グループの予想

- レジ袋などのプラスチックごみ
生き物のお腹の中から出てきた
マグロ、ウミガメ、クジラ、サメ…

正解は「シカ」

奈良公園のシカの胃から出たもの



解説

奈良公園に子どもたちが遠足でお弁当を広げると、シカが寄ってきてビニール袋なども食べてしまう。子どもたちの身近な話題からプラスチックの話に入っていく。

海は、まるでプラスチックスープ。日本は、人口一人当たりの使い捨てプラスチック容器の廃棄量が世界2位。いつから増えただろうか？

(2) プラスチックの歴史について説明

戦争のために軽くて丈夫な素材ということでプラスチックの開発が一気に進んだ。戦後、大量に余った軍用ポリエチレンは、フラフープなどの子どもたちのおもちゃに変身していった。

(3) プラスチックと水俣病

水俣病の原因企業であるチッソ（株）は、第二次世界大戦当時、朝鮮半島に東洋一の電気化学コンビナートをつくり、肥料、火薬などを生産していた。その技術は当時世界トップレベルだった。敗戦後、日本の旭化成、積水化学、積



2019年8月 奈良公園 原因不明で衰弱死したシカの胃の中から、4.3kgのプラスチックごみの塊が出てきた。シカのおよそ3頭に2頭は、胃の中にプラスチックごみが入っている。

日本でも、1960年頃から一気に増えている。スーパー、コンビニ、百貨店が広がったことが要因にある。便利なものの背景に、プラスチックが溢れる時代になったということがある。

水ハウスなどの多くの企業に技術移転し、化学肥料や多様なプラスチック製品を商品化していった。

プラスチックは、戦争と大きく関わっているということも知っておいてもらいたい。

10. さいごに 教材づくりのヒント

さいごに、教材づくりのヒントとして資料をお渡しする。

ネパールにスタディツアーに行った人たちが、開発教育の教材づくりのヒントとして挙げたもの。

スタディツアーのねらいは、何をつかみたいか、つかんだものをどう伝えるか、常に目的意識を持っていくことが大事。

目的を持っていると、新聞やニュース映像、雑誌などに引っ掛かってくるものが出てくるので、それをキープしておく、いつか使えるものが出てくる。わたしは、テーマごとに分けてノートに切り貼りしている。

リソースパーソンに直に話を聞くのが一番良いが、なかなか難しい場合は、NGOなどが出しているメディア動画も活用できる。

資料の中に、「その8 スタディツアーを通して、自分のあり方を見つめましょう」とある。今回、スタディツアーには行かなかったけれど、今日紹介した教材はすべて自分のくらしと重ねてみると、たくさんの気づきがあったと思う。それを、参加者同士でふりかえると更に深めていけるかと思う。

スタディツアーから開発教育教材へ

～成功のためのヒント～

最終セミナーで今までのプログラム全体を振り返り、どうしたら私たちの教材作りの経験を他の人にも活かしてもらうことができるのかを話しあいました。その結果、開発教育教材を作る際に役立つ、成功のためのヒントを挙げることにしました。以下の9つのヒントを、みなさんの今後の活動に活かしていただけたらと思います。

その1：多様なリソースパーソンが必要！

事前学習会から教材作りまで力になってくれる現地をよく知っている人、現地カウンターパートや趣旨を理解してくれる人、教材作りの経験者が必要です。特に、参加型学習を実践している人の存在が大きいです。

その2：多様な参加者を集めよう！

教材作りをするからといって教員だけを集めてしまうと、視野が狭くなってしまいます。いろいろな視点の気づきから互いに学ぶために社会人や学生など多様な参加者を集めましょう。

その3：自由に意見を言える雰囲気を作ろう！

遠慮して本音が言えないような力関係があってはダメです。そのためにもまず参加者同士が事前学習会やスタディツアーを通して仲良くなりましょう。

その4：ツアーに行く前に、教材作りのイメージを持とう！

教材作りを意識していないと、現地で材料集めをすることが難しいです。事前学習の時にアクティビティ作りの体験などを取り入れて、作る側として心構えを持ちましょう。

その5：スタディツアーを楽しもう！

教材作りばかり気になるとツアーそのものを楽しめません。現地で自分が感じることを大切に、新たな発見をすることで結果的には視野の広い教材という形で活かします。また、ツアー中は個人の体験を共有する「ふりかえりの時間」をゆっくりとるといっそう学びの幅が広がります。

その6：自分のメッセージを伝えたい、と考えよう！

教材作りといわれても、教員でない人には難しいことです。スタディツアーで感じたことを誰かに伝えるとしたら、と考えて、多様な表現方法を工夫しましょう。いちばん大切なことは、スタディツアーを一過性のものでせず、自分の生活の中で関わり続けることです。

その7：謙虚になろう！

スタディツアーや視察旅行にたった1回行っただけでその国を題材にした教材を作るなんて本当は無理な話です。それより、教材を作る過程で、壁にぶつかったらその都度学ぼうとする謙虚な姿勢を持ちましょう。

その8：スタディツアーを通して自分自身のあり方を見つめよう！

現地に行った人しか使えない教材には広がりがありません。途上国を紹介する教材ではなく、日本とのつながりや自分自身のあり方に気づく教材をめざすことで、多くの人の共感を得るでしょう。

その9：教材作りを楽しもう！

途中で脱落してしまわないためにも、教材作りをまず楽しみましょう。そのためにも、教材作りという枠にとらわれずに、個人の自由な意見・発想を尊重しましょう。

国際教育教材体験フェアin 滋賀 2023 報告

開催日：2023年8月9日（水） 13：00～16：45

会場：ピアザ淡海 会議室（大津市） 参加者：46人

主催：公益財団法人滋賀県国際協会 共催：JICA関西 協力：Glocal net Shiga

分科会1 「『子どもの権利』 ワークショップ」

講師 川辺 純子さんGlocal net Shiga（立命館守山中学高等学校教員）
立命館守山中学校生徒

今回、川辺さんが受け持つ立命館守山中学1年生がファシリテーター補助として進行役を務めた。

1. ワーク① 「Wants & Needs」

① グループにカード1セット20枚と白紙カード4枚を配布。カード20枚を見やすいように机に広げる。カードには、「人が健康に、安全に、幸せに生活するために大切だと思うもの」が書かれている。

例)



② さらに、白紙カードにひとり1枚ずつ、グループで4枚、20枚のカード以外のものを書いて書く。

追加のカードは、同じ内容が重複しないよう気をつける。

③ 現在机の上にある24枚のカードから、必要ないと思うものを8枚選ぶ。必要ないと思った8枚のカードは横にまとめておいておく。



④ 残り16枚のカードから、さらに必要ないと思うもの8枚を選ぶ。グループの中で意見が合わない場合は、よく話し合い、決定する。

⑤ 残ったカード8枚から、さらに4枚必要ないと思うものを選び、カードを絞り込む。

⑥ グループ発表

グループから出た意見

- 栄養のある食べ物、ケガをした時の治療、服、差別されない・暴力を受けない
- 安全に生活できる場所、教育、言語、愛情（愛情を与える対象・与えられる対象（ペット含む））
- 栄養のある食べ物、きれいな水、安全に生活できる場所、ルール（憲法・法律）
- 栄養のある食べ物、教育、安全に生活できる場所、ケガをした時の治療
- 栄養のある食べ物、きれいな水、安全に生活できる場所、差別されない・暴力を受けない

理由：

- 健康を維持するために必要なものと、人権を守るためのものは外せないという合意に至った。
- 衣食住は外せない。最低ラインを保障するためには、憲法で法や権力者を縛る、人権を保障する上でも、憲法が外せないということに至った。
- 教育に、差別されない・暴力を受けないなども含まれると考えた。
- 「マンガ」「映画」という案も出ていた。

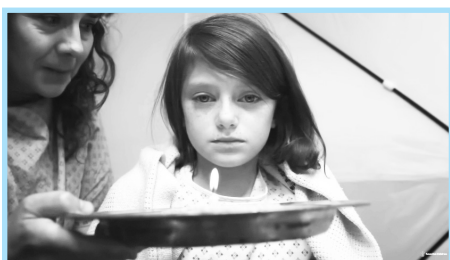
幸せに生きるためには、心の豊かさ、心の充実も大事だということに気づいたが、「家族などは、入れなくてもいいの？」と問いかけられ、ハッとさせられた。

(川辺さん) 高校生では、「推し」のカードを残す子どもも多い。コロナ時期には「家族」を選択した生徒が増えた。家族とのつながりを実感したのかと思う。海外では、「宗教」のカードが残るそう。環境によって、結果がさまざまとなるアクティビティである。

2. ワーク② 動画視聴

NGOのSave the childrenが、シリア侵攻の際に作成した動画を視聴。

【Most Shocking Second a Day Video】
<https://www.youtube.com/watch?v=RBQ-loHfimQ>



この動画に出てきた女の子に必要なと思うカードを探してみよう。枚数に制限はない。

3. ワーク③ 国語の教科書「子どもの権利」から

中学一年生の国語の教科書（教育出版）に掲載されている弁護士であり、国連子ども権利委員会委員の大谷美紀子さんの文章を紹介。

2019年1月、子どもの権利委員会は日本政府に対し50項目以上の勧告を行った。その一つに、「ストレスの多い学校環境（過度に競争的なシステムを含む）から、子どもを解放するための措置を強化すること」とある。「この状況を打破するため、子どもにとって最も必要な権利は何だと思うか？」これから、子どもの権利条約全42条を読み、どれが必要な権利か、ワークシートに書き出そう。

【Save the Children Japanウェブサイト】

【おやこのミカタ 「こどものケンリ」】
「子どもの権利条約」を参照

<https://www.savechildren.or.jp/oyakonomikata/kodomo-no-kenri/learning-kit/crc/index.html>



立命館守山中学の生徒たちが選んだ意見の発表

○【第29条】教育によって、自分の身体と心を成長させる権利があります。教育の目的には、人権、母国や生まれ育った社会の価値観や言語、平和、友好の精神、自然環境を尊重することなどが含まれます。

⇒ テストがストレスになると思う。競争することが、身体と心を成長させるわけではなく、他人と比較することで友好の精神を失ってしまうことがある。テストの結果が振るわなかった場合、自分の努力が報われなかったことがストレスになる可能性がある。

○【第12条】自分に関わるすべてのことについて意見を聴かれ、その意思を大切にされる権利があります。

⇒ ストレスになると感じていることは、厳しすぎる校則。友人の学校では髪型の校則があり、担任に必要ないと訴えたが、あやふやにごまかされてしまったそう。みんなが気持ちよく過ごすために決まっている校則のはずが、みんなの中に含まれるはずの生徒が口を出せなくなっていて権利を侵害

されている。

⇒ 意見を友だちや家族だけではなく、その他の大人に伝えることや、その意思を大切にされる権利が子どもたちにはあると考えるから。

○【第4条】子どもは国に子どもの権利条約を守ってもらう権利があり、国は子どもの権利を保障する義務があります。

⇒ 「子どもを守る」ということは、公教育の中で、子ども一人ひとりには良いところがあるので、その人たちの個性を伸ばすことが公教育の基礎、大事なところだと考える。

川辺さんよりこの授業に取り組んだ経緯について説明

昨年、高校3年生に「子どもの権利を知っているか」尋ねたところ、「知らない」、さらに対象が18歳未満であることから、「自分たちにはもう権利はないやん」という声が聞こえてきた。これは由々しき事態だと思った。

今春、中学1年生を受け持つことになり、子どもたちには大きな可能性があるのに、環境によってそれが消えてしまうことは残念だと思った。可能性を引き出すためにも、早めに子どもの権利を教えてあげるのがよいのではないかと考えた。ルールメイキングや学びの文脈からも「子どもの権利」が出てくる。本校でも、生徒総会が1学期に開催され、スマホの持ち込みを許可するかどうかについても話し合いがもたれた。

Save the Children Japan

「Be partners」（子どもの権利教材）

https://www.savechildren.or.jp/file/be_partners.pdf

2022年「改訂 生徒指導提要」にも、「子ども基本法」にも子どもの権利条約に則って取り組んでいこうと明示されている。「改訂 生徒指導提要」の中には、生徒指導を实践するうえで、子どもの権利条約の4つ原則を理解しておくことが不可欠であると明記されている。学校教員は、子どもの権利を学ばなければならない時期になっていると思う。

子どもの権利の原文は英語で書かれているため、日本語への翻訳版はたくさんあるが、このSave the Childrenの教材は「子ども」が主体として訳されているので今回紹介した。

子どもの権利について3つのポイント

○権利の裏にあるのは何か？ = 相互尊重

Save the childrenの方と話す中で出てきた言葉。以前は、責任や義務と答える人が多かったが、権利は与えられるものではなく、生まれながらに持っているものである。互いが権利の主体であり対等な関係作りが始まる。だから、子どもの権利は相互尊重に繋がっている。

○意識表明権の「意見」とは？

意見というと「Opinion」という英訳を思い浮かべるかもしれないが、原文では「Respect for the views of the child」と書かれている。

子どもが意見を表明するというよりも、見えている風景や感じていること（views）を聞いてもらう権利を持っているという方がよいと思われる。大人が考えてあげるのではなく、子どもがどうしたいか、主体として意見を聴いてみるということ。

○教師は権利の保障の最前線で向き合う者である

北田よしこ先生（埼玉大学）のお話より、

「子どもはこれから成長する未熟な存在ではなく、今そのものが完全な存在である。

BecomingではなくBeingである」

外国ルーツの子どもへの対応として、周辺化される目立たない子どもたちは放置されやすい状況にある。そうした際に、子どもの権利を知っていると対応できることがあるかもしれない。

子ども基本法が制定された年に集えたみなさんと、今後も一緒に学んでいけたらと思う。

分科会2「滋賀の歴史から考える多文化共生」

講師 竹辺 このみさん Glocal net Shiga (大津市立堅田小学校教員)

1. アイスブレイキング

「あいさつがわからない」

「ひょうたん島問題」

藤原 孝章 著 (明石書店) より

- ① 配られたカードの中身を黙読する。
- ② カードに書かれたあいさつをしながら、会場中を回り、同じあいさつをする仲間を探そう。

3種類のあいさつをする人々（ひょうたん人、カチコチ人、パラダイス人）が設定されていた。

問いかけ

「うれしかった時は？」 「悲しい気持ちになったときは？」

この教材では、仲間が多いと安心するが、文化的マイノリティはどのような気持ちになるのかを理解するのに適していると思い、子どもたちにも実践した。

2. 滋賀県内に暮らす外国人の状況について

昨年度、次世代人材育成セミナー（滋賀県国際協会主催）に参加し、県内のブラジル人学校やモスク、渡来人歴史館など、多文化に触れるさまざまな場所を訪問することができた。今日は、中でも、朝鮮についてのセミナーをもとに、小学6年生を対象に実践した内容を紹介する。

3. 朝鮮について知っていることは何ですか？

1) 「朝鮮」についてブレインストーミング

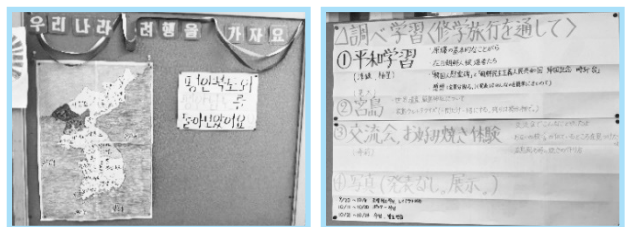
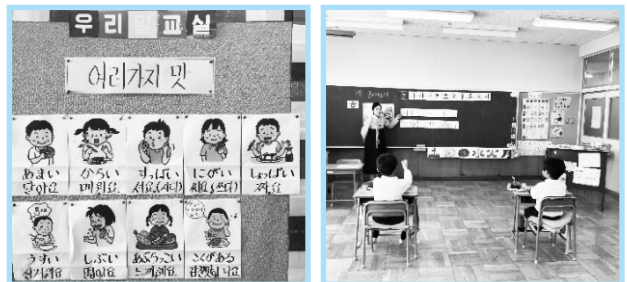
参加者から出た内容

K-pop、朝鮮戦争、キムチ、ミサイル、国名が長い、朝鮮通信使 など

2) フォトランゲージ

ある学校を訪問してきた。その時の写真を紹介する。


- ① グループに5枚ずつ写真を配布。
- ② 気づいたこと（例：日本と似てるところ、違うところ、初めてみたこと など）を付箋に書き、写真に貼る。



気づいたこと

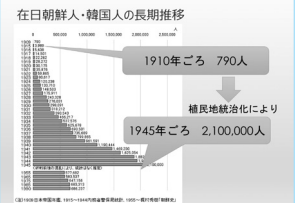
- 制服を着ている。
- ハングルはわからないが、地図が新しいのか古いものなのか気になった。
→ この地図を見て違和感を持った人はいないか？北緯38度線が書き込まれていない地図。
- 修学旅行の写真で帰国記念と書かれていた。
- 在日朝鮮人から話を聞くことと、平和について学びながら朝鮮について学んでいる。

この学校の行事は、

とある学校の行事 <ul style="list-style-type: none">・プール・運動会・平和学習・マラソン大会・スキー教室・学芸会	<ul style="list-style-type: none">・おいもほり・おもちつき・やまのこ・ホールの子・うみのこ 	他にも・・・ <ul style="list-style-type: none">・おやし給食 月1回 →実は給食がありません！・おばあちゃん給食・キャンプ・平和学習（広島） →在日朝鮮人の人から話を聞く
---	--	--

この学校は、「滋賀朝鮮初級学校」です。昨年のセミナーで訪問する機会を得るまで、勤務校と同じ大津市にこの学校があることを知らなかったことを恥ずかしく思ったし、もっと知りたいという気持ちになった。

3) 在日朝鮮人の歴史的背景を理解する

 <p>在日朝鮮人・韓国人の長期推移</p> <p>1910年ごろ 790人</p> <p>植民地統治化により</p> <p>1945年ごろ 2,100,000人</p>	<p>「朝鮮人」は「日本人」になっただけが・・・</p> <ul style="list-style-type: none">・国籍は日本 戸籍は朝鮮・憲法は適用されない・朝鮮在住者には参政権もない <p>なのに！</p> <ul style="list-style-type: none">・内面まで日本人に・・・・日の丸を掲げさせる・名前を日本人風に変える・朝鮮語の使用は禁止！
--	--

当時、朝鮮人には憲法も適用されず、参政権もなかった。なのに、内面まで日本人になるようにと政府の同化政策が取られた。戦争が激化し、兵隊が足りず、戦場へ送られることになった。


1945年8月15日は、日本は敗戦し「終戦記念日」と呼び、朝鮮では解放を意味する日。韓国では「光復節」北朝鮮では「解放記念日」となっている。

解放された朝鮮を南北に分けたのは、ソ連やアメリカ。その後、日本に残った在日朝鮮人の子どもたちは、1946年ごろには、滋賀県内にも多くの朝鮮学校が設立されていたが、3年足らずでGHQによって朝鮮人学校閉鎖令が出された。

しかし、朝鮮人側の活動や交渉を経て、民族学級の設立が決定した。

その後、北朝鮮による帰国事業がはじまり、多くの人が帰国した。その際、朝鮮人により、

朝鮮人側の多くの活動・交渉を経て・・・民族学級の設立決定



朝鮮語
朝鮮の文化

大津市立膳所小学校
民族学級の様子



彦根市立城東小学校
「平和の誓い」像

多くの石像が建てられたり、帰国記念樹が植えられた。彼らは、なぜ日本に多くのお金をかけて残していったのだろうか。

参加者からの意見

- このとき、自分は小学2年生だった。「明日から来ない、さようなら」と言っていた。彼らは新潟から船に乗って帰っていった。とてもさみしかったし、彼らも残っていたかたんだらうなと感じた。
- 長く過ごしたので、まったく縁がブツリと切れるのではなく、足跡を残したかたのではないか。
自分たちがそこにいた証のようなものだろうか。

石碑を残して帰国した人もいれば、日本に残った人たちもいた。もともと滋賀朝鮮学校は近江八幡市に設立されたが、大津市に移転し、設立60周年を超える学校となっている。

4) グループディスカッション

この学校に通う子どもたちは、日本の学校に通うこともできるが、なぜ、朝鮮初級学校に通っているのか。その背景には、どのような思いがあるのだろうか？

参加者からの意見

- 日本の小学校では、ルーツである言語習得が難しい。言語がわからないと自分の国のことを学べなかったり、コミュニケーションが難しい。同じルーツの仲間がいることは心強いのではないか。
- 毎日小学校で外国籍の子どもと接しているが、日本の学校に預けるのは大きな選択だと思う。自分たちのルーツを守るという意味でも、朝鮮学校を選択されているのではないか。

5) 動画紹介

「朝鮮学校のいま 「在日」生徒たちの胸の内（本編）」（Yahoo!ニュース）
<https://news.yahoo.co.jp/feature/586/>

自分が朝鮮人であり、朝鮮文化を知っている状況は、朝鮮学校に通わないと得られないと彼女は語っていた。

6) 民族的アイデンティティとは

民族的アイデンティティとは…?

「言語や習慣という文化で区分される、ある集団の一員である」ということを認識しているということ。

朝鮮学校に通っている子どもたちは、朝鮮の血を引き継ぎ、朝鮮文化を学んでいるので「朝鮮人」と答えると思う。ブラジル人学校を訪問した際も、子どもたちは「わたしは、ブラジル人」だと明言していた。それは、そうした環境の中で育ち、そういう教育を受けているからこそだと思う。日本の学校で日本文化を学ぶ外国ルーツの子どもたちにとっては、自分は日本人なのか、母国の血を引き継いでいるので母国の人なのかという認識があるのではないか。そのアイデンティティ、その子たちのルーツを守っていくことが、私たちには大事になってくるのではないだろうか。

7) 私たちにできることは何だろうか？

この授業を受けた6年生の感想を紹介。

たった1時間の授業だったが、子どもたちの視野が広がり、身近にさまざまなルーツを持つ人たちがいることを知ってほしいと考え、この授業を考えた。

8) ふりかえり 朝鮮学校について2つの視点で考える

① はじめて知ったこと、もっと知りたいと思ったこと

- 朝鮮の文化も日本の文化・言語もどちらも学んでいることを初めて知った。
- 朝鮮人学校は国からの支援を受けられず存続が難しいという現状にあること。
- 滋賀県に多くの朝鮮人学校があったこと。帰国のとき記念の像がたくさん建てられていたこと。作られた経緯をもっと詳しく知りたくなった。

- 学校を卒業した後の子どもたちはどう社会とつながっていくのだろうか？ 進路は？
- ハングルと日本語、どの割合で学んでいるのだろうか？ 社会科の歴史についてはどうだろうか？
- 他の県の生徒との交流があるのか知りたい。
- 今まで生活をしている中で朝鮮学校でよかったと思ったことや困ったなと思ったことがあれば知りたい。

② わたしたちにできること、できそうなこと

- 自分たちの文化とちがう文化や考えを理解したいと思って行動すること
- 朝鮮人学校では母国のことだけでなく、日本のこともたくさん学んでいるということをもっと日本の子どもたちに伝えていきたい。
- 朝鮮以外の国の人も増えている中で、どのようにそれぞれのルーツを大事にしていいたらよいか、知ること、伝えることがもっと必要になるだろう。
- 民族的アイデンティティについて、あたり前に感じていることでも、人によって違和感や困り感を持っている人がいることを知ってほしい。
- 勤務校では課題研究の取組をしている。テーマの一例として紹介し、生徒に興味をもってほしい。このテーマに取りくむ生徒がいると良いなと思う。
- 実際に学校を見に行き子どもたちや先生たちと話をしたり一緒に何か活動をしてみたい。
- あえて、日本の学校に通うことを選ばれた人たちの思いは？ その思いを伝えていくことが大事。
- 子どものアイデンティティを大事にするために、国籍に縛られず、一人ひとりを考え、認め合い、大切に社会を作っていこう。
- 外国人の子どもたちに、偏見を持たず接していく。

大阪市立小中学校の民族学級で働いている方から

滋賀県で多文化共生教育の中で朝鮮学校を中心に取り組まれたこと、こうした場で発表されたということについて、個人的にはとても新鮮に感じ、すごいなと思った。大阪でも先生方に知ってもらいたいと感じた。

滋賀朝鮮初級学校 理事長 鄭先生から

毎年、日本人の先生たちが中心となり、朝鮮学校で「ウリハッキョ（私たちの学校）マダン」という祭りを行っている。今年で18回目。日本人650人、ブラジル人50人、朝鮮人が100人集う。これをはじめ、年間2千人の方々が、学校を訪れる。また、年間数十件さまざまなところから人権学習の講師として招かれ、4～6千人の県民と出会っている。「在日を生きてではなく、在滋賀を共に生きている仲間」だと思っている。

滋賀県内の国別外国人人口についての説明があったが、あの統計は国籍を基本としているので、在日コリアンの場合、日本国籍を取得した者、ダブルなどを含めると、軽く1万人を超えるはず。全国では100万人を超えるので、朝鮮半島にルーツを持つ人が、人口の1%を占めているため、教室に当事者が必ずいるという前提で人権学習を行っていただくと効果的だ。

学校には、日本国籍、韓国籍の子どもも在籍している。学術的には「朝鮮」と呼ぶことが正しい。「渡来人」とは、アイヌ系やインドネシア、ミクロネシアなどの南方の方、中国の方もおられたが、本流は朝鮮人のこと。学校教育の現場で、『渡来人』ではなく、「日本に渡って

きた『朝鮮人』によって」という表現が変わると差別がなくなるのではないかと期待している。モノが伝わったのではなく、人が伝わった。人と人の触れ合いがあった。特にこの近江の地には、そこら中に朝鮮通信使や朝鮮人街道など、長く深い付き合いがあった。

朝鮮人のアイデンティティがあるというのは根っこの部分。日本の学校で、それが守られているか。日本の学校では、ナニ人を育てているのか？差別がなければ、朝鮮人も日系ブラジル人も堂々と過ごしていけるはず。なぜ通名を名乗り始めるのか。

今回、このような学びの場を若い先生が実践し、これほど私たちのことを真剣に学んでくださる方々がおられることに感動している。これからも、私は在日朝鮮人として、みなさんは在日日本人として、滋賀を多文化共生の豊かな社会として築くために、ともに生きていきたいと思う。

竹辺さんのコメント

私も昨年のセミナーに参加し、渡来人歴史館や朝鮮学校を訪問するまでは全く知識もなかったが、本を読むようになったり、ネットで調べようになり、子どもたちに何か伝えたいと思い実践した。ルーツの問題は、保護者の理解も必要となり難しいところもあるが、写真を見せて同じところ・違うところを扱うだけでも、異文化を持つ人が近くにいることを感じられると、これからの共生社会に向けて何か一歩踏み出せるのではないかと実践している。

分科会3「となりのムスリム・ムスリマ」

講師 岡 佑里子さん Glocal net Shiga（公益財団法人京都YWCA職員）

使用教材 「身近なことから世界と私を考える授業Ⅲ（明石書店）

みなさんは、イスラームについてのどのようなイメージを持っているだろうか。今日は、皆さんにイスラームを身近^{注1}に感じてもらえる時間としたい。

注1 これまで「イスラム教」と表記されてきたが、現在はアラビア語の長母音に基づく「イスラーム」が採用されるようになってきた。イスラームの中に「教え」という意が含まれている。

（出典：「身近なことから世界と私を考える授業Ⅲ（明石書店）より」）

1. アイスブレイキング 「BINGO！イスラムと出会おう」

イスラームを信仰している人たちをムスリム・ムスリマという。ムスリムは男性、ムスリマは女性を指す。まずは、参加者同士のイスラーム像を掘り起こしたい。

1. ムスリムが多く住んでいる国や地域を3つ教えてください。 名前 ()	2. イスラームと聞いて、連想することを3つ教えてください。 名前 ()	3. モスクを見たことや行ったことがありますか。気づいたことは？ 名前 ()
4. ムスリムが多く住んでいる国や地域に行ったことがありますか。気づいたことは？ 名前 ()	BINGO! イスラムと出会おう	5. 知人や近所の人に、イスラームを信仰している人がいますか。 名前 ()
6. ムスリムが多く住んでいる国や地域で行きたいところはどこですか。理由は？ 名前 ()	7. イスラームやムスリムについてどんなことに関心がありますか。 名前 ()	8. あなたが考えた質問 名前 ()

- ① 配布したビンゴシートの8番の枠に、自分が聞いてみたい質問を書き込む。
- ② 会場を移動し、相手を見つける。
- ③ 相手から質問されたら回答する。次は自分から質問をする。
- ④ お互いに1問ずつ質問しあったら、次の相手を見つけに行く。これを繰り返す。

ビンゴ後の問いかけ

- いくつかの枠に回答を埋めることができたか？
- 他の参加者にも共有したい、面白い回答は？

解説

ムスリムが多く住んでいる地域として、よく中東地域が挙げられるが、日本国内やアジアにも多く住んでいる。アメリカではキリスト教に次いで、イスラームが多くなっていて、世界的に出会う機会が増えている。

本来、イスラームとは「平和」という意味。イスラームの人たち同士は「アッサラームアライクム（平和があなたの上にありますように（の意）」と挨拶をする。神様は「アッラー」、その教えを伝える預言者「ムハンマド」がサウジアラビアで、神から話を聞き伝えたことで始まった。コーラン/クルアーン（聖典）にはムハンマドが神様から聞いた言葉がしたためられていて、大切に日々読み上げ、学んでいる。

礼拝をおこなう場所はモスク。呼び方はさまざまあるが、今日はモスクと呼ぶ。礼拝や食事、結婚式やお葬式も執り行う場である。イスラームに入信する儀式や勉強会なども行っている。国によっては、イスラームの人以外にも公開されている場合もある。日本にもモスクがたくさんあり、京都や大阪、神戸、滋賀の能登川にもあり、イスラームの方たちが集い、お祈りなどをされている。

世界三大宗教とは、キリスト教、イスラーム、仏教と言われている。今は、キリスト教が一番多く、西洋を中心に信仰されているが、次いでイスラームとなっている。世界人口70億のうち、18億人に上ると言われている。あと20年もすると、イスラームが第一宗教になるとも言われているほど増えている。

世界では、イスラーム18億人とされる中に、「怖い」とイメージされているIS/過激派と呼ばれる人たちは1万人ほどいるかどうかである。マスメディアは過激な報道を扱いがちなので、イスラームは過激な宗教と刷り込まれている可能性がある。しかし、大半の人々は平和を愛する人たちなので、報道に踊らされないよう、今日は正しい知識を持ち帰ってもらいたい。

一番伝えたいことは、イスラームの教えでは、「あらゆる人間が神様のもとでは平等である」という考えである。どの地域の人々も、アラビア語で神様とつながることが大前提となっている。そして、同じ祈り方、同じ方向に向かって祈ることで、神様のもとでは平等だと一体感を持つことができる。スンニ派やシーア派など分派はあるが、祈り方などはほぼ同じである。

サウジアラビアで神から預言者が教えを聞き、世界に伝わっていった。サウジアラビアが最も厳格と言われている。アジア最大の信者がいるインドネシアは、イスラーム人口が世界一多い。リビア、アルジェリア、モロッコの3か国は、フランスの植民地だったためフランスに出稼ぎに行く人も多い。そのため、フランスの学校でスカーフを巻いてはいけないといった議論などが起こったりする。歴史的には、イスラーム世

界は、かつてポルトガルやスペインにも広がっていたので、現在でも、スペインのアルハンブラ宮殿などではイスラーム文化の要素が見て取れる。今や、中国などにも増えてきているので、今後はもっと増えていくだろう。

【イスラームの5つの義務（五行）】

- ①信仰告白 ②礼拝 ③喜捨
- ④断食（ラマダン） ⑤巡礼（ハッジ）

2. ムスリムのくらし ものランゲージ「みんぱく」より

「みんぱく」国立民族学博物館の貸出教材
<https://www.minpaku.ac.jp/teacher/school/minpack>
 【今回使用教材】世界のムスリムのくらし1
<https://www.minpaku.ac.jp/teacher/school/minpack/contents/muslim1>

1) 配られたアイテムが何かを予想する

各グループに、みんぱくに収められている数々の品物を配布。それらが、いったい何なのか、どういうときに使うのかなどグループで話し合う。

2) グループ発表

各グループで予想したことを発表。その後、岡さんより正解と解説があった。

グループ1

- カーバ神殿に巡礼する際の白い衣装など
- 信仰告白に使うもの



解説

このグループには「巡礼（ハッジ）」に関わるアイテムが中心。アッラーと書かれているステッカーは、車や店先など、どこでも見る。偶像崇拜は禁止されているが文字は問題ない。巡礼の衣装は2枚の白布だけ。貧富の差など関係

なくみな同じ衣装。定められた期間に、世界中から200万人の巡礼者がメッカに集まる。10年前に神戸モスクに行った際に手にした巡礼ツアーのチラシには、24日間で48万円となっていた。ローンは認められていない。

グループ2

- 礼拝時間を一目でわかるよう掲示するもの
- コンパス メッカの方向が分かる
- 敷物、礼拝の時に使用するもの
- 礼拝の方法について書かれたもの
- 礼拝の時に体を清めるために使うもの

解説

このグループは、「祈り」に関するアイテム。最近では、礼拝の時間はネットでわかるようになっている。コンパスはメッカを差している。



その他、お祈りする際の敷物、礼拝前のお浄めに使うものなど。水道施設が整っている日本では思い浮かべにくいですが、食事の前など手を洗う際などにも使われる。

グループ3

- コーランを広げておくもの（台）とコーラン
- 数珠・カレンダー・文字の教科書

解説

私の周囲のイスラームの人々はコーランを日常生活の中で、傍らに置いてお祈りをしていた。99珠の数珠は、何回お祈りするかわか



るようになってきている。カレンダーはイスラーム歴と西暦がわかるようになってきている。日本が元号と西暦を使っているように、イスラーム歴と西暦を併用している。

グループ4

- 線香 線香の台
- 礼拝の時に着用する帽子
- 時計

解説

アラビア語を勉強するためのブロック。男性が良く被る帽子。お祈りの時間を知らせるアザーンが流れる時計。お守りとプラスチック製の手を洗うもの。



グループ5

- 食品 ハラール認証マークつき
- 銀のカップなどはお香立て
- 炭
- 木製の入れ物… 岡さんから、これは化粧道具で水で溶いた炭を入れてアイラインにすると教えてもらった。
- 清める際に使う道具

解説

食べることを許可されている食品には、ハラールマークがついている。イスラームの人々は、このマークを基準に選ぶので重要な指標である。日本でも、今後このマークを採用するところが増えていくだろう。日本の食品会社も世界に多く輸出しているが、アジアの国ではハラールマークを付けたものが主流となっている。



3. 日本の中のムスリムのくらしとは

現在、日本国内には約20万人のイスラームが暮らしている。ほとんどが外国人。日本人は1万人程。自ら改宗された方もおられるが、結婚相手がムスリムだったため、改宗した方が大半。歴史的には1世紀ほど前に神戸に移住したインド人ムスリムによって伝えられ、どんどんと増

えてきた。

1909年、日本人ムスリムが初めてメッカを巡礼した記録がある、1935年、神戸ムスリムモスクが完成した。

1) ケーススタディ「どうしたらいいでしょう」

- ① 各グループに事例の書かれたカードを配布。
- ② 事例について気づいたことなど意見交換を行い、解決方法を考え、グループ発表。
- ③ 解説を聞き、気づいたことを交流する。

事例1 千葉モスクのケース 自治会役員の立場で

ムスリムが自宅を改装してモスクを作ったら、近所の人たちが怖がったり、いやがらせを受けたりした例

- 近所の人たちは印象だけで怖がっている。偏見だけで何かをされたわけではないのに、もともとの住民がムスリムたちに身の危険を感じさせている。
- 実際にモスクを見てももらったり、研修をしたりという方向にもっていく必要がある。
- 知らない人たちにとっては、大勢が集まっていたり、お祈りのようすがわからないので、文化を正しく理解していないと、こうした誤解がおきやすいのではないか。
- 自治会の役員がどちらの立場に立てるのか。その時にも、イスラーム文化をどこまで理解できているかによって、対応する方法も変わっていくだろう。
- 言葉や習慣の壁はあるが、入る前にできることを考えておく必要があったのではないか。

解説

実際の例では、警察に相談したところ、町内会との交流を深めてはどうかとアドバイスをされ、地域のパトロール活動に登録し、地域の人たちと一緒に活動していくうちに、苦情やトラブルはなくなったそう。

京都や滋賀の能登川ではモスクができる前に、地域住民に説明会をされた。そうすることで、トラブルを避けることができる。

事例3 社員食堂のケース 福利厚生担当者の立場

ムスリムの社員が社員食堂で食べられるメニューがなく困っている例

- ハラールのメニューが作れないか、食堂に掛けあってみる。
- ファミリーレストランやファストフード店などでも調べれば原材料がわかるようになっているので、QRコードをつけて、メニューの原材料がすぐにわかるように工夫する。
- ムスリム以外にも、アレルギーを持つ人達のことなども考えて、低アレルゲンのメニューを作る。
- 宗教上食べられない人だけでなく、ベジタリアンやアレルギーの人などもあるかもしれないので、そうした人たちのことも考慮してメニューを考える。その際は、社内で交流することで、相手の食べられないものなどについて理解することができ、より良い食堂になると思う。

- この会社は、外国人を受け入れるときに、このような事例を想定すべきであり、覚悟すべきである。会社も派遣する会社も責任を負うべき。

解説

ヤンマーの事例。東南アジアから農業機械を売るために職員を採用している。いまや、半分は外国での売り上げとなっているため、社員や顧客に対し、どのような対応が必要か考える対策が必要となり、7年前から社員食堂でハラールメニューを提供するようになった。お客様からも喜ばれているそう。さらに、礼拝のスペースも設けている。

今後は外国人従業員を雇う前から、こうした対策が必要となるだろう。

今日紹介したワークやみんぱっくの教材など、様々なリソースをつかって、イスラームについて理解する機会を設けてもらえたらと思う。

分科会4「国際教育・多文化共生の必要性～多国籍化する学校現場から～」

講師 川嶋 稔彦さん Glocal net Shiga (湖南市立三雲東小学校長)

1. 多文化共生とは

「多文化」という言葉に出会ったのは30代前半。それまでは、「国際理解教育」「異文化理解教育」という言葉が使われていたと記憶している。多文化共生の定義の中で一番大事にしてきたのは「対等な関係」を築いていくという点である。日頃から、日本の子どもと外国籍・外国にルーツを持つ子どもが対等ではないと感じている。対等な関係をどのように構築してきたかを私のライフコースになぞらえて紹介する。

多文化共生とは…

「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、**対等な関係**を築こうとしながら、**地域社会の構成員**として共に生きていくこと」

(総務省：多文化共生の推進に関する研究会報告書より)

給食が食べられない外国籍・外国にルーツを持つ子どもがとても多かった。母国には給食のシステムもなく、理解ができない。無理やり食べさせることもできない。

1) グループディスカッション

これは困った パート1

もし、あなたが教員だったら、クラスに給食を食べられない子どもにどのような対応をするか。

参加者から出た意見

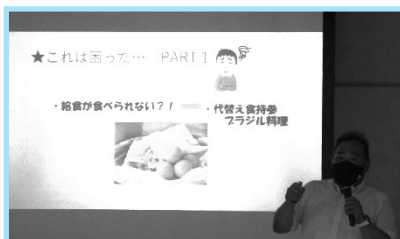
- 味が合わないことが原因ならば、口に合う調味料を自宅から持たせる。
- お弁当を持ってくるように伝える。
- 量を調整する。
- 箸が難しいのであれば、使いやすい道具を

持ってくるように伝える。

私も、家の人と相談し、食べられるものを自宅から持参するように伝えた。当時、翻訳アプリなどもなかったので、通訳の方を介して食べられないものに印をつけてもらう等していた。

おとし、インドネシアの子どもが入ってきた。イスラームの子どもなのでハラールしか口にしないし、断食期間は食べない。宗教上のことなので、保護者に食べさせてくれとも言えず心配したが、今後こうしたことも増えていくのだろうと思っているし、学校側としては知っておかなくてはならないと感じている。

当時の日本の子どもは、お弁当を持参することに「ずるい」という反応だったが、今はアレルギーを持つ子どもが増えているため、周りの受け止め方も寛容になってきている。当時は、日本の食事とブラジルの食事の違いについて説明するなどして理解を促した。



これは困った パート2

言葉が通じないが、明らかに困った顔をしている外国人児童がいる。あなたならどうするか。

参加者から出た意見

- 予想できることをイラスト化しておく
- 困りカード、お助けカードを作っておく
- ジェスチャー
- ポケトークを使う
- 保護者に連絡
- 辞書を渡して、指差ししてもらう
- 「どうしたの？」だけでも子どもの言語を教員が覚える
- 通訳をお願いする

私は、ニコちゃんペーパーサートを作り、通訳の方から事前に使い方を説明してもらった。辞書という意見が出たが、なかなか家庭で母語の読み書きを教えていないところが多いので、使

えない子どもが多いと思う。



これは困った パート3

遠足の持ち物を保護者と子どもにどう説明するか。

参加者から出た意見

- 写真を見せて、何に使うか、どのように使うかも説明する。できれば、自宅まで行って一緒に用意する。
- 実物を見せても、例えば水筒を見せるだけでなく、何を入れるかについても伝えるようにする。
- 学校側でも予備を持っていく。
⇒ (川嶋さん) 前日にすべての家をまわり、当日は必ずおにぎりとお茶を余分に持って行っていた。
- お弁当自体がわからない方もおられるので、例を見せたり、コンビニで買ってきてもよいと伝える。

当時の私は、お弁当、水筒、レジャーシートだけは持ってきてもらうようにイラスト集からコピーして渡した。遠足当日、小学2年生の子どもが大きなゴザを担いできたことを覚えている。伝えることの難しさを痛感した。

これは困った パート4

外国籍・外国にルーツを持つ子どもは、なかなか日本の学校や友だちになじめない。言葉は通じない、母語を話す機会がなくストレスが溜まってくる。そうすると、外国籍・外国にルーツを持つ子どもたちだけで集まろうとする。それは、当然の姿である。日本の子どもと一緒に遊ぶこともなく、授業も理解が進まない。すると、ケンカや仲間外れということが起こってくる。

こうした状況の中、外国籍・外国にルーツを

持つ子どものストレスを軽減させる方法について話し合う。

参加者から出た意見

- 言葉がわからないゲーム じゃんけんなど
- あそび歌 ブラジルのあそび歌などもやってみる
- 手遊び
- 一世代上の外国ルーツの先輩たちに、アドバイスをもらう、悩みの相談ができる場を設ける
- 言葉がわからない疑似体験をして、相手の立場を理解できるようにする
- 教室掲示に文房具などの名前を多言語を添えることで、話題のきっかけづくりとする
- 共感した上で、一人ひとりに向き合っていく

私も、外国籍・外国にルーツを持つ子どもを排除しようとする日本の子どもがいたので悩んでいた。垣根なく仲良くさせたい、学ぶ喜びをどのようにすれば感じてもらえるかを考えていた。そのころ、開発教育セミナーに参加し、参加型学習の手法を知り、県国際協会から情報を得ながら、外国籍・外国にルーツを持つ子どもの人権を守るためにいろいろな学習会に参加するようになった。

多文化共生のために作った教材を授業で使うと、日本の子どもたちが外国籍・外国にルーツを持つ子どもの気持ちを理解するようになった。そして、自分たちには何ができるかということを考えられるようになった。さらに、国際理解の授業をたくさん展開した。外国籍・外国にルーツを持つ子どもたちが、自分の国のことを喜んで発表してくれるような授業や、保護者からサンバを教えてもらって一緒に踊ると、ブラジルって楽しいなって子どもたちが思うようになっていき、多文化を理解するようになった。

2. 多文化教育の構築

人権教育教材「ええぞ、カルロス」という絵本を使った。外国からの転入生の不安な気持ちなどを理解するために有益な絵本なのでお勧めする。

現在、大きく制度が変わり、通訳や母語支援員が授業に入り、文書の翻訳もしてもらえる。母語

支援員がいる時は、子どもも母語で伝えられるので、本音を聴き出しケアリングすることにつながられるようになった。

また、湖南省では初期日本語教室が設置され、さらに外国籍・外国にルーツのある子どもが多い地域であるため日本語教室の加配や非常勤講師が配置されている。初期指導教室では、日本語、日本の学校生活、学校文化などについても学ぶことができる。在籍生徒数にあわせて、日本語指導加配が設置されており、子どもたちが安心できるように整えられている。ポケットクも整備されている。

外国籍・外国にルーツを持つ子どもの中にも特別な支援を必要とする子どももいる。昔は、言語の問題なのか、発達障害なのか判別できなかったが、今では発達検査も外国語版があるので支援方法を考えることに役立っている。また夏休み宿題教室も開かれており、今年は2か所新設された。外国ルーツの子どもが夏休みの宿題をしてくることは少なかったが、少しずつ効果が出てきている。

3. 未来への展望

外国籍・外国にルーツを持つ子どもの命、人権を守る取組が必要である。排斥の時代に比べると変わってきているが、なくなってはいない。そして、特に必要なのが、外国籍・外国にルーツを持つ子どものキャリア教育である。自分の将来の展望、職業観について描けるようにしていかなければならない。

今の外国籍・外国にルーツを持つ子どもの保護者は、子どもが将来、日本で高校、大学に進学し、日本で働くと考えていることが大半である。彼らのキャリア教育をどのように考えていくかが、大事になっていくと思われる。

皆さんには、「文化の伝達者」として、活躍してもらいたい。

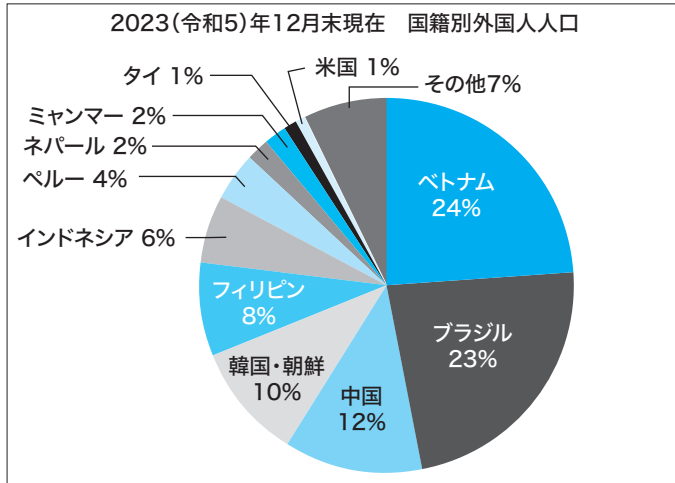
文化の伝達者

外国籍・外国にルーツを持つ人たちは、自分たちの文化を理解してもらいたい欲求

資料集

- ◇ 滋賀県における国籍別外国人人口
- ◇ 国際教育研究会 Glocal net Shiga 活動報告
- ◇ 国際教育・開発教育貸出教材の紹介

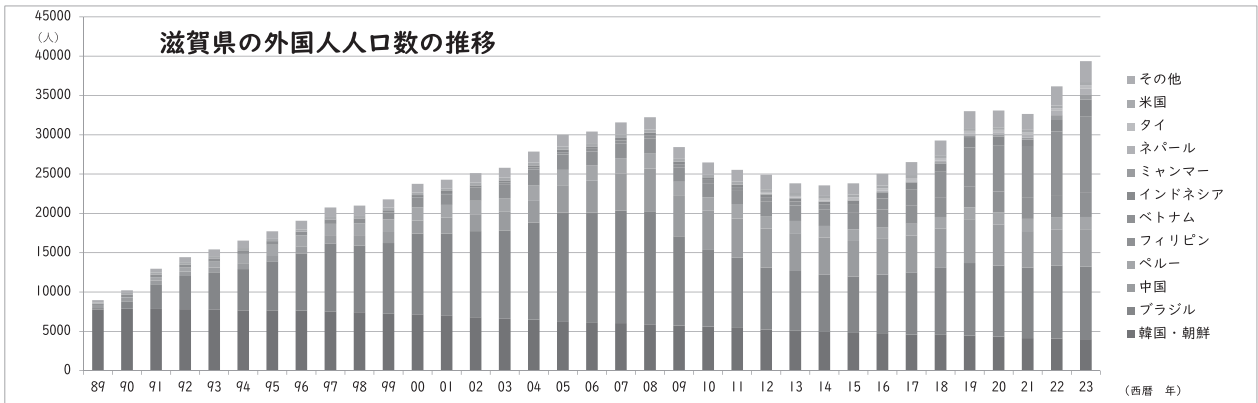
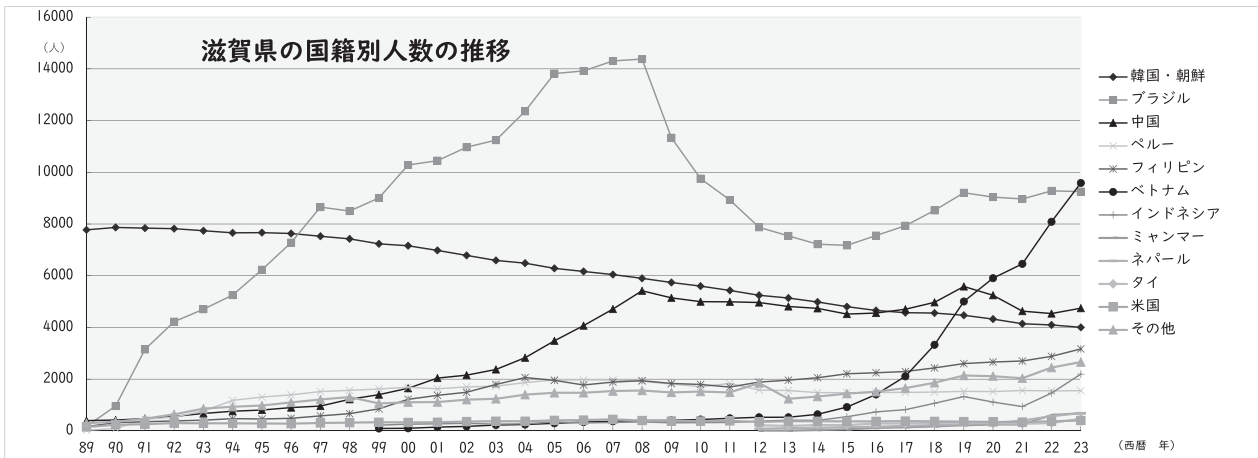
滋賀県における国籍別外国人人口



公益財団法人滋賀県国際協会 作成

国籍	人口数	前年度比
ベトナム	9,585人	1,497
ブラジル	9,251人	△30
中国	4,740人	207
韓国・朝鮮	4,002人	△92
フィリピン	3,165人	286
インドネシア	2,191人	733
ペルー	1,548人	3
ネパール	685人	124
ミャンマー	677人	70
タイ	472人	175
米国	393人	23
その他	2,657人	212
合計	39,366人	3,208

*国籍数等:105か国・地域



外国人人口の比率が2%以上の市町 (2023年12月末現在)

市町名	外国人人口(人)	総人口(人)	外国人比率(%)	備考(上位4国籍)
1 湖南市	3,810	54,382	7.01%	ブラジル 1,535人, ベトナム 891人, ペルー 352人, 韓国・朝鮮・インドネシア 254人
2 愛荘町	1,131	21,190	5.34%	ブラジル 576人, ベトナム 192人, フィリピン 152人, 中国 54人
3 甲賀市	4,514	88,503	5.10%	ブラジル 1,722人, ベトナム 1,054人, ペルー 365人, フィリピン 343人
4 日野町	899	20,858	4.31%	ブラジル 337人, ベトナム 281人, フィリピン 49人, 中国 48人
5 東近江市	4,754	112,064	4.24%	ブラジル 1,639人, ベトナム 1,382人, フィリピン 493人, 中国 244人
6 長浜市	4,108	113,940	3.61%	ブラジル 1,585人, ベトナム 879人, 中国 395人, フィリピン 375人
7 豊郷町	255	7,196	3.54%	ブラジル 111人, ベトナム 49人, フィリピン 36人, 中国 21人
8 彦根市	3,515	111,118	3.16%	ベトナム 1,081人, 中国 534人, ブラジル 516人, フィリピン 447人
9 草津市	3,503	139,939	2.50%	中国 992人, ベトナム 868人, 韓国・朝鮮 498人, フィリピン 203人
10 近江八幡市	1,999	81,860	2.44%	ベトナム 774人, ブラジル 348人, 中国 180人, フィリピン 163人
11 栗東市	1,625	70,469	2.31%	ベトナム 466人, ブラジル 271人, 中国 183人, 韓国・朝鮮 182人
12 野洲市	1,047	50,709	2.06%	インドネシア 353人, ベトナム 251人, 中国 117人, 韓国・朝鮮 101人
県全体	39,366	1,410,538	2.79%	ベトナム 9,585人, ブラジル 9,251人, 中国 4,740人, 韓国・朝鮮 4,002人

※滋賀県総合企画部国際課の調査に基づく。

※2011年(平成23年)12月末までは外国人登録者数、2012年(平成24年)12月末以降は住民基本台帳人口による。

※2013年(平成25年)12月末の統計より「中国・台湾」で統計をまとめていましたが、2019年(令和元年)12月末統計より「中国」「台湾」で統計をまとめています。

※県民36人(35.83人)に1人が外国人。

「国際教育研究会 **Glocal net Shiga** (くろーがる ネット しが)」について

私たち、「国際教育研究会 **Glocal net Shiga** (くろーがる ネット しが)」は平成15年(2003年)4月に立ち上がったグループです。名前にある“**Glocal**”とは**Global + Local**を結びつけた造語です。“**Think Globally, Act Locally**”(地球規模で考え、地域から行動する)という開発教育/地球市民教育/グローバル教育の地域社会に対する考え方を表すことばがあり、地球と地域を結ぶことばとして生まれました。

このような考え方をうけ、地元滋賀(**Shiga**)で地域に根ざした人たちをつなぎ(**Network**)、みんなで一緒に地球市民を育む活動に取り組んでいきたいという思いが込められています。

会のねらいについて

- 地球上には、自国文化を含め、さまざまな生活・文化等があることを知り、多様性を受け入れること **多様性の尊重**
- 地域には、さまざまな文化背景や価値観等をもつ人びとがともに暮らしていることを認識し、多文化共生の意識を育むこと **多文化共生社会づくり**
- 世界と自分とはつながっていること、自分たちの生活と地球のどこかで起こっている問題が密接につながっていることを理解すること **相互依存関係の理解**
- 地球的課題を解決するために行動すること **公正・平和な社会づくり**
など

こうしたことをねらいとして、さまざまな実践方法(おもに参加型学習法)を学びながら、国際教育を促進することを目的としています。教育関係者・国際協力NGO関係者・外国籍住民・地域国際協会関係者、学生、青年海外協力隊OVなど、さまざまな立場や経歴の持ち主が参加しています。

これまでに滋賀県の特徴を生かした題材をとらえ、「**ブラジルボックス**」・「**わたしん家の食事から**」・「**非識字体験ゲーム『ここは、何色?』**」「**はじめてのお見舞い**」・「**『言葉がわからない』体験ゲーム 何が起こった?(震災編)**」などの教材を開発してきました。また、より多くの方に国際教育を体験していただくよう年数回、国際教育ワークショップを開催しております。

今後も幅広い知識や情報の交換を行い、より深みのある内容を取り上げていきたいと考えています。

入会について

毎月1回日曜日に例会を開催しています。さまざまな経歴のメンバーが集まるクラブ活動のような会です。渡航経験や語学力については、まったく心配していただく必要はありませんので、この研究会にご関心のある方は、お気軽に下記までお問い合わせください。

国際教育・開発教育についての企画相談、講師派遣も随時承ります。

<お問合せ先>

公益財団法人滋賀県国際協会 担当 大森

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階

電話:077-526-0931 ファックス:077-510-0601

E-mail: omori@s-i-a.or.jp

2023年度（令和5年度）の主な活動について

開催日	内 容
4/16	国際教育教材体験フェア（兼）滋賀県総合教育センター自己啓発研修「国際理解」分科会・講師について、滋賀県国際協会 次世代人材育成プログラムの内容について話し合い、異文化理解アクティビティ「バーンガ」体験
5/28	国際教育教材体験フェア 分科会・講師について、次世代人材育成事業「SDGs×多文化共生×開発教育」連続セミナー内容等について話し合い、国際教育教材体験フェア分科会デモンストレーション
6/24	次世代人材育成事業 連続セミナーファシリテーター・プログラム内容について、フォローアップ・オプションの内容について話し合い、教材体験 「ちがいのちがい」 「レヌカの学び」
7/22	国際教育教材体験フェア 分科会のデモンストレーション体験、次世代人材育成事業 連続セミナー（第2回 ブラジル人学校の生徒との出会い プログラム内容など）について話し合い
8/9	国際教育教材体験フェアの運営・参加
9/17	国際教育教材体験フェアふりかえり、次世代人材育成事業 連続セミナー第1回～第3回報 告 次年度（2023年度）次世代人材育成事業助成申請について、今年度国際教育ワークショップのテーマ・講師候補について、Glocal net Shiga 20周年記念について話し合い
10/28	次世代人材育成事業 連続セミナー オプショナル企画「県内のベトナム人コミュニティとの交流会（インタビュー大会）」への参加
11/18	（一財）自治体国際化協会主催「英国多文化コミュニティ政策研修」報告 Glocal net Shiga 20年の歩みのふりかえりと今後の活動について
12/16	次世代人材育成事業 連続セミナー 多文化共生に関する講演および受講生によるアクションプラン発表会への参加
1/13	国際教育ワークショップ in 滋賀 2023 「身近なことから世界と私を考える学びを創る ～平和・環境へまなざしを向けて～」への参加
2/11	設立20周年記念企画：神戸スタディツアー「神戸のイスラム文化と華僑文化」（兼 次世代人材育成事業 連続セミナー オプショナル企画）への参加
3/17	次年度国際教育教材体験フェア 分科会について、次世代人材育成事業 連続セミナー プログラム案について話し合い、神戸スタディツアー報告、「持続可能な地域をつくる成人学習・教育（ALE）と開発教育：関西会議」（開発教育協会）報告、開発中教材デモンストレーション など

【活動の様子】



県内のベトナム人コミュニティとの交流会



神戸スタディツアー シナゴークにて

国際教育・開発教育教材の紹介および貸し出し規定について

(公財) 滋賀県国際協会

当協会では、国際教育および開発教育に関する資料・教材（ビデオ等も含む）を713点（2023年度末現在）所蔵しており、自由に閲覧・視聴することができますので、お気軽にご利用ください。

なお、当協会ホームページからも教材目録、貸出申請書様式が入手できます。

<https://www.s-i-a.or.jp/inquiries/lending>

<利用について>

- 閲覧・視聴 どなたでもご自由にご利用いただけます。
ただし、事務所に保管しておりますので、閲覧を希望される場合は、職員にその旨お伝えください。
- 利用時間 月曜日から金曜日まで（土日祝日を除く） 午前9時から午後5時まで
- 貸出 原則として、会員および団体（学校を含む）に限ります。
所定の貸出申込書にご記入の上、当協会窓口にご提出ください。
貸出期間：2週間以内（申請により期間延長可能）
貸出冊数：1回5点以内
- 返却 当協会窓口まで直接ご返却ください。やむを得ないと認められる場合は、借受側の料金負担のもとに郵送・託送を認めます。
なお、破損、紛失の場合は実費をご負担いただきます。



貸出教材の一部

<お問合せ先>

公益財団法人 滋賀県国際協会

〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階

電話 077-526-0931 ファックス 077-510-0601

HP <https://www.s-i-a.or.jp> E-mail info@s-i-a.or.jp

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
1	0-0 概論 1	NGO スタッフのための国内事業ハンドブック	開発教育協会	ブックレット
2	0-0 概論 2	参加型 ワークショップ入門	明石書店	書籍
3	0-0 概論 3	テキスト国際理解	国土社	書籍
4	0-0 概論 4	国際理解教育 地球市民を育てる授業と構想	国土社	書籍
5	0-0 概論 5	国際理解 重要用語 300 の基礎知識	明治図書	書籍
6	0-0 概論 6	南北問題と開発教育 地球市民として生きるために	垂記書房	書籍
7	0-0 概論 7	開発教育 2006 Vol.53 特集 開発教育と教材 / スポーツと開発教育	明石書店	書籍
8	0-0 概論 8	地球市民教育のすすめかた	明石書店	書籍
9	0-0 概論 9	はてな? なぜかしら? 国際問題 全3巻	教育画劇	書籍
10	0-0 概論 10	開発教育 2003 No.47 特集 開発教育のこれまでとこれから	開発教育協会	ブックレット
11	0-0 概論 11	開発教育 2004 No.49 特集 平和を築く学び	開発教育協会	ブックレット
12	0-0 概論 12	開発教育 2004 No.50 特集 地域から描くこれからの開発教育	開発教育協会	ブックレット
13	0-0 概論 13	開発教育 2005 No.51 特集 いのちを学ぶ	開発教育協会	ブックレット
14	0-0 概論 14	開発教育 2005 No.52 特集 国際協力と開発教育	開発教育協会	ブックレット
15	0-0 概論 15	開発教育実践の手引き 開発教育ガイドブック2	国際協力推進協会	ブックレット
16	0-0 概論 16	「開発教育」ってなあに? 開発教育 Q&A 集 改訂版	開発教育協会	書籍
17	0-0 概論 17	開発教育キーワード 51 開発教育ブックレットシリーズ No.5	開発教育協議会	ブックレット
18	0-0 概論 18	新しい開発教育のすすめ方	古今書院	書籍
19	0-0 概論 19	新しい開発教育のすすめ方Ⅱ	古今書院	書籍
20	0-0 概論 20	World studie 学びかた・教えかたハンドブック	国際理解教育センター	書籍
21	0-0 概論 21	地球市民を育む学習・Global teacher, Global learner	明石書店	書籍
22	0-0 概論 22	DEAR News 100号～	開発教育協会	ニュースレター
23	0-0 概論 23	開発教育 2007 vol. 54 特集参加型開発と参加型学習	開発教育協会	書籍
24	0-0 概論 24	いっしょにESD! 環境・人権・参加の新世紀教育	国際理解教育センター	ブックレット
25	0-0 概論 25	「地球時代」の教育とは	岩波書店	書籍
26	0-0 概論 26	地域から描くこれからの開発教育	新評論	書籍
27	0-0 概論 27	開発教育 2008 vol. 55 特集 開発教育と市民性	開発教育協会	書籍
28	0-0 概論 28	開発教育 2009 vol. 56 特集 開発教育の教師・指導者とファシリテーター	開発教育協会	書籍
29	0-0 概論 29	開発教育 2010 vol. 57 特集 オルタナティブな経済と開発教育	開発教育協会	書籍
30	0-0 概論 30	開発教育 2011 vol. 58 特集 オルタナティブな教育と開発教育	開発教育協会	書籍
31	0-0 概論 31	パウロ・フレイレ「被抑圧者の教育学」を読む	太郎次郎社エディタス	書籍
32	0-0 概論 32	世界で生きる力—自分を本当にグローバル化する4つのステップ	英治出版	書籍
33	0-0 概論 33	シティズンシップと教育—変容する世界と市民性	頸草書房	書籍
34	0-0 概論 34	開発教育 2012 vol.59 特集 開発教育 この10年 そして未来へ向けて	開発教育協会	ブックレット
35	0-0 概論 35	開発教育 2013 vol. 60 特集 学びとしてのフェアトレード	開発教育協会	ブックレット
36	0-0 概論 36	開発教育 2014 vol. 61 特集 政治を語る市民社会	開発教育協会	ブックレット
37	0-0 概論 37	地域の問題解決を促進するファシリテーターハンドブック	開発教育協会	ブックレット
38	0-0 概論 38	この社会で戦う君に「知の世界地図」をあげよう	文芸春秋	書籍
39	0-0 概論 39	グローバル時代の国際理解教育—実践と理論をつなぐ	明石書店	書籍
40	0-0 概論 40	100歳のジャーナリストからきみへ(人類)	汐文社	書籍
41	0-0 概論 41	100歳のジャーナリストからきみへ(育つ)	汐文社	書籍
42	0-0 概論 42	100歳のジャーナリストからきみへ(生きる)	汐文社	書籍
43	0-0 概論 43	100歳のジャーナリストからきみへ(平和)	汐文社	書籍
44	0-0 概論 44	100歳のジャーナリストからきみへ(学ぶ)	汐文社	書籍
45	0-0 概論 45	SDGsと開発教育 持続可能な開発目標のための学び	学文社	書籍
46	0-0 概論 46	開発教育 2015 vol. 62 特集 「平和」に向き合う開発教育	開発教育協会	ブックレット
47	0-0 概論 47	開発教育 2016 vol. 63 特集 女性をとりまく問題と開発教育	開発教育協会	ブックレット
48	0-0 概論 48	増補学び舎 中学歴史教科書 とともに学ぶ人間の歴史	学び舎	書籍
49	0-0 概論 49	開発教育 2017 vol. 64 特集 多文化共生社会の未来と開発教育	開発教育協会	ブックレット
50	0-0 概論 50	基本解説 そうだったのか。SDGs	(一社)SDGs市民社会ネットワーク	書籍
51	0-0 概論 51	グローバル時代の「開発」を考える—世界と関わり、共に生きるための7つのヒント	明石書店	書籍
52	0-0 概論 52	開発教育 2018 vol. 65 特集 安全・安心に暮らすということ—難民・避難民・先住民族の視点から	開発教育協会	ブックレット
53	0-0 概論 53	国際理解教育 Vol. 22 特集道徳教育と国際理解教育	日本国際理解教育学会	書籍
54	0-0 概論 54	国際理解教育 Vol. 23 特集アクティブ・ラーニングと国際理解教育	日本国際理解教育学会	書籍
55	0-0 概論 55	国際理解教育 Vol. 24 特集「移動する子どもたち」と国際理解教育	日本国際理解教育学会	書籍
56	0-0 概論 56	SDGs カリキュラムの創造 :ESD から広がる持続可能な未来	学文社	書籍
57	0-0 概論 57	開発教育 2019 vol. 66 特集 教育の画一性を問う	開発教育協会	ブックレット
58	0-0 概論 58	開発教育 2020 vol. 67 特集 気候危機と私たち	開発教育協会	ブックレット
59	0-0 概論 59	開発教育 2021 vol. 68 特集 沖縄における開発教育	開発教育協会	ブックレット
60	0-0 概論 60	わくわく開発教育 開発教育ブックレットシリーズ No.2	開発教育協議会	ブックレット
61	0-0 概論 61	国際理解教育を問い直す—現代的課題への15のアプローチ—	明石書店	書籍
62	0-0 概論 62	SDGs時代の学びづくり 地域から世界とつながる開発教育	明石書店	書籍
63	0-0 概論 63	開発教育 2022 vol. 69 特集 開発教育 この10年、そして次の10年へ向けて	開発教育協会	ブックレット
64	1-0 実践事例 2	いきいき開発教育 総合学習に向けてたカリキュラムと教材	開発教育協議会	ブックレット
65	1-0 実践事例 3	つながれ開発教育 学校と地域のパートナーシップ事例集	開発教育協議会	ブックレット
66	1-0 実践事例 4	チャレンジ総合的学習1 中学校「国際理解」ファックス教材集	明治図書	書籍
67	1-0 実践事例 5	「いのち」を考える授業プラン48	小学館	書籍
68	1-0 実践事例 6	人間関係を豊かにする授業実践プラン50	小学館	書籍
69	1-0 実践事例 7	みんなとの人間関係を豊かにする教材55	小学館	書籍
70	1-0 実践事例 8	いっしょに学ぼう Learning Together	国際理解教育センター	ブックレット
71	1-0 実践事例 9	TOOL8 8つの参加型<基本ツール>を使いこなす	国際理解教育センター	ブックレット
72	1-0 実践事例 10	STEP5 参加型ですすめる5つのステップ	国際理解教育センター	ブックレット
73	1-0 実践事例 11	参加型で伝える12のものの見方・考え方	国際理解教育センター	ブックレット
74	1-0 実践事例 12	対立は悪くない ～学校・地域の問題解決に活かす～	国際理解教育センター	ブックレット
75	1-0 実践事例 13	Let's Cooperate 穏やかにもめごとを解決するための学びかた・教えかたハンドブック	国際理解教育センター	ブックレット
76	1-0 実践事例 14	ハンドブック 楽しく学ぶ合うワークショップ	国際理解教育情報センター	ブックレット
77	1-0 実践事例 15	みんなでつなごう! 教室と世界「総合的な学習の時間(国際理解)」に役立つ学習プラン	(財)福島県国際交流協会	ブックレット
78	1-0 実践事例 16	国際理解教育ハンドブック 地域に暮らす外国人と一緒に学ぼう!	名古屋国際センター	ブックレット

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
79	1-0 実践事例 17	参加型学習で世界を感じる 開発教育実践ハンドブック	開発教育協会	ブックレット
80	1-0 実践事例 18	開発教育・国際理解教育ハンドブック 小中学校教育員用副読本	国際協力推進協会	ブックレット
81	1-0 実践事例 19	教室から地球へ 開発教育・国際理解教育 虎の巻	JICA 中部国際センター	ブックレット
82	1-0 実践事例 20	対立から学ぼう 中等教育におけるカリキュラムと教え方	国際理解教育センター	ブックレット
83	1-0 実践事例 21	ERIC レッスンバンク	国際理解教育センター	ペーパー
84	1-0 実践事例 22	レッスンバンク 『ワールドスタディーズ』追加・発展教材集	国際理解教育センター	
85	1-0 実践事例 23	レッスンバンク 『人権教育ファシリテーターハンドブック』追加・発展教材集	国際理解教育センター	
86	1-0 実践事例 24	活動(アクティビティ)で進める国際理解教育教材 全12セット 2005年改訂版	地球の友と歩む会/LIFE	ワークキット
87	1-0 実践事例 25	グローバル・クラスルーム	明石書店	書籍
88	1-0 実践事例 26	身近なことから世界と私を考える授業	明石書店	書籍
89	1-0 実践事例 27	市民学習実践ハンドブック	開発教育協会	書籍
90	1-0 実践事例 28	国際交流・国際協力に基づくESD教材・カリキュラム	松山ESD促進実行委員会	書籍
91	1-0 実践事例 29	食からみえる「現代」の授業	太郎次郎エディタス	書籍
92	1-0 実践事例 30	はじまりをたどる「歴史」の授業	太郎次郎エディタス	書籍
93	1-0 実践事例 31	若者のためのESD 「私」から広がる世界	ESDRC	書籍
94	1-0 実践事例 32	身近なことから世界と私を考える授業Ⅱ オキナワ・多みんぞくニホン・核と温暖化	明石書店	書籍
95	1-0 実践事例 33	世界と私と未来をつなぐ授業づくりガイド 開発教育・ESDを教室へ	開発教育協会	書籍
96	1-0 実践事例 34	開発教育実践ハンドブック 参加型学習で世界を感じる[改訂版]	開発教育協会	書籍
97	1-0 実践事例 35	社会参画の授業づくり・持続可能な社会に向けて	古今書院	書籍
98	1-0 実践事例 36	ファシリテーショングラフィック入門	明治図書出版	書籍
99	1-0 実践事例 37	グループディスカッションで学ぶ社会学トレーニング	三省堂	書籍
100	1-0 実践事例 38	「共に生きる」をデザインする グローバル教育教材と活用ハンドブック	メディア総合研究所	書籍
101	1-0 実践事例 39	ESD・開発教育 実践者のための ふりかえり・自己評価ハンドブック	開発教育協会	ブックレット
102	1-0 実践事例 40	マンガアジア～アジアのマンガから世界を見よう～	名古屋国際センター・国際交流基金	ブックレット
103	1-0 実践事例 41	先生とNGOが手をつないだ! 地域でつくる国際理解教育	福島県国際交流協会	ブックレット
104	1-0 実践事例 42	世界の国を知る 世界の国から学ぶ わたしたちの地球と未来 活用マニュアル	愛知県国際交流協会	ブックレット
105	1-0 実践事例 43	世界はともだち2	岩手県国際交流協会	ブックレット
106	1-0 実践事例 44	たった一つを変えるだけ: クラスも教師も自立する「質問づくり」	新評論	書籍
107	1-0 実践事例 45	生徒の生き方が変わる グローバル教育の実践	メディア総合研究所	書籍
108	1-0 実践事例 46	「主体的学び」につなげる評価と学習方法—カナダで実践されるICEモデル(主体的学びシリーズ—主体的学び研究所)	東信堂	書籍
109	1-0 実践事例 47	教育ファシリテーターになろう! グローバルな学びをめざす参加型授業	弘文堂	書籍
110	1-0 実践事例 48	社会科 アクティブ・ラーニングへの挑戦 社会参画をめざす参加型学習	明石書店	書籍
111	1-0 実践事例 49	学び合う場のつくり方—本当の学びへのファシリテーション	岩波書店	書籍
112	1-0 実践事例 50	リラックスと集中を一瞬でつくる アイスブレイク ベスト50	ほんの森出版	書籍
113	1-0 実践事例 51	開発教育基本アクティビティ集 1—世界とのつながり	開発教育協会	書籍
114	1-0 実践事例 52	Social Action Handbook (ソーシャル・アクション ハンドブック) テーマと出会い・仲間をつくり・アクションの方法を見つける39のアイデア	開発教育協会	書籍
115	1-0 実践事例 53	豊かさで開発	開発教育協会	冊子
116	1-0 実践事例 54	アクティブラーニングに使える! ファシリテーターのための参加型アクティビティ集「コミュニケーション編」	NIED・国際理解教育センター	書籍
117	1-0 実践事例 55	多文化社会で多様性を考えるワークブック	研究社	書籍
118	1-0 実践事例 56	生きる力を育むグローバル教育の実践—生徒の心に響く主体的・対話的で深い学び	明石書店	書籍
119	1-0 実践事例 57	多文化共生のためのシティズンシップ教育実践ハンドブック	明石書店	書籍
120	1-0 実践事例 58	身近なことから世界と私を考える授業Ⅲ 「自分ごと」として学ぶ17ゴール	明石書店	書籍
121	1-1 実践事例 1	アクティビティ事典 -2002年度版-	国際理解教育センター	CD
122	1-1 実践事例 2	ゼロから始める主権者教育 18歳の選挙権	PARC	DVD
123	2-0 南北問題 1	フード・ファースト・カリキュラム 食べものを通じて世界を見つめよう	国際理解教育センター	ブックレット
124	2-0 南北問題 2	テーマワーク グローバルな視野を活動の中で育てる	国際理解教育センター	ブックレット
125	2-0 南北問題 3	食べものから世界が見える	地球市民アカデミア	ワークキット
126	2-0 南北問題 4	マジカルバナナ	地球の木	ワークキット
127	2-0 南北問題 5	改訂版 NEW マジカルバナナ	地球の木	ワークキット
128	2-0 南北問題 6	「援助」する前に考えよう 参加型開発とPLAがわかる本	開発教育協会	ブックレット
129	2-0 南北問題 7①②	いい貿易って何だろう いっぱいのコーヒーから考える世界の貿易 開発教育教材シリーズ②	開発教育協議会	ブックレット
130	2-0 南北問題 8	たずねてみよう! カレーの世界 開発教育教材シリーズ③	開発教育協議会	ブックレット
131	2-0 南北問題 9	改訂版 たずねてみよう! カレーの世界 開発教育教材シリーズ③	開発教育協会	ブックレット
132	2-0 南北問題 10①②	新・貿易ゲーム 開発教育教材シリーズ④	開発教育協会	ブックレット
133	2-0 南北問題 11	新・貿易ゲーム [改訂版]	開発教育協会	ブックレット
134	2-0 南北問題 12	貧困と開発 豊かさへのエンパワーメント	開発教育協会	ブックレット
135	2-0 南北問題 13	コーヒーカップの向こう側	開発教育協会	ブックレット
136	2-0 南北問題 14	小学校 ユニセフによる地球学習の手引き	教育出版	書籍
137	2-0 南北問題 15	中学校 ユニセフによる地球学習の手引き	教育出版	書籍
138	2-0 南北問題 16	地球に学ぶ新しい地理授業	古今書院	ブックレット
139	2-0 南北問題 17	スマホから考える 世界・わたし・SDGs	開発教育協会	書籍
140	2-0 南北問題 18	コンビニ弁当 16万キロの旅	太郎次郎社	書籍
141	2-0 南北問題 19	世界から貧しさをなくす30の方法	合同出版	書籍
142	2-0 南北問題 20	世界と地球の困った現実	明石書店	書籍
143	2-0 南北問題 21	歩いてみてきたモノのこし方行く末	京都自由学校	ブックレット
144	2-0 南北問題 22	バナナとエビと私たち 岩波ブックレットNo.551	岩波書店	ブックレット
145	2-0 南北問題 23	フェア・トレード 公正なる貿易を求めて	新評論	書籍
146	2-0 南北問題 24	日本はどこへ行く?	太郎次郎社	書籍
147	2-0 南北問題 25	世界の貧困 1日1ドルで暮らす人びと	青土社	書籍
148	2-0 南北問題 26	発展神話の仮面を剥ぐ グローバル化は世界を豊かにするのか?	古今書院	書籍
149	2-0 南北問題 27	徹底解剖100円ショップ 日常化するグローバリゼーション	コモンズ	書籍
150	2-0 南北問題 28	たまちゃんと南の人びと	明石書店	書籍
151	2-0 南北問題 29	たまちゃんと南の人びと part2	明石書店	書籍
152	2-0 南北問題 30	たまちゃんと南の人びと part3	明石書店	書籍
153	2-0 南北問題 31	世界がもし100人の村だったら (英訳付)	マガジンハウス	書籍
154	2-0 南北問題 32	世界がもし100人の村だったら②	マガジンハウス	書籍
155	2-0 南北問題 33	世界がもし100人の村だったら③たべもの編	マガジンハウス	書籍
156	2-0 南北問題 34	世界がもし100人の村だったら④子ども編	マガジンハウス	書籍

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
157	2-0 南北問題 35	新・ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら	開発教育協会	ブックレット
158	2-0 南北問題 36	改訂版 100人村カードセット	開発教育協会	ブックレット
159	2-0 南北問題 37①②	100人村ワークショップセット		ワークキット
160	2-0 南北問題 38	レヌカの学び	あおもり開発教育研究会	ワークキット
161	2-0 南北問題 39	ケータイの一生 ― ケータイを通して知る 私と世界のつながり	開発教育協会	ブックレット
162	2-0 南北問題 40	お弁当屋さんゲーム 一食のグローバルリゼーションを考える	開発教育協会	ブックレット
163	2-0 南北問題 41	ケータイの裏側	コモンズ	書籍
164	2-0 南北問題 42	世界の半分が餓えるのはなぜ	合同出版	書籍
165	2-0 南北問題 43	世界がもし100人の村だったら 完結編	マガジンハウス	書籍
166	2-0 南北問題 44	NHK 地球データマップ 世界の“今”から“未来”を考える	NHK 出版	書籍
167	2-0 南北問題 45	原木のある森 コーヒーのはじまりの物語	アフリカ理解プロジェクト	書籍
168	2-0 南北問題 46	フードマイレージどこからくる？私たちの食べ物	開発教育協会	書籍
169	2-0 南北問題 47	世界中から人身売買がなくなるのはなぜ？	合同出版	書籍
170	2-0 南北問題 48	ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら 第3版	開発教育協会	ブックレット
171	2-0 南北問題 49	カップめんから世界が見える	WE21 ジャパン 開発教育部会	ワークキット
172	2-0 南北問題 50	地球の水のものがたり～命の水が遠ざかる国～	WE21 ジャパン 開発教育部会	ワークキット
173	2-0 南北問題 51	戦闘機1機で学校何校つくれるか？	合同出版	書籍
174	2-0 南北問題 52	世界から飢餓を終わらせるための30の方法	合同出版	書籍
175	2-0 南北問題 53	旅をしながら	いのちのことば社	絵本
176	2-0 南北問題 54	懐かしい未来～ラダックに学ぶこと	なつみら SHOP	書籍
177	2-0 南北問題 55	妹は3才 お医者さんがいてくれたなら	合同出版	書籍
178	2-0 南北問題 56	ダイヤモンドはほんとうに美しいのか？	合同出版	書籍
179	2-0 南北問題 57	ぼくは8歳、エイズで死んでいくぼくの話聞いて	合同出版	書籍
180	2-0 南北問題 58	紛争、貧困、環境破壊をなくすために 世界の子どもたちが語る20のヒント	合同出版	書籍
181	2-0 南北問題 59	マジカルバナナ V3	地球の木	ワークキット
182	2-0 南北問題 60	ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら 第4版	開発教育協会	ブックレット
183	2-0 南北問題 61	世界の国1位と最下位一国際情勢の基礎を知ろう	岩波ジュニア新書	書籍
184	2-0 南北問題 62	世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ	汐文社	絵本
185	2-0 南北問題 63	あなたのTシャツはどこから来たのか？誰も書かなかったグローバルリゼーションの真実	東洋経済新報社	書籍
186	2-0 南北問題 64	ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら 第5版	開発教育協会	ブックレット
187	2-0 南北問題 65	世界がもし100人の村だったら お金篇	マガジンハウス	書籍
188	2-0 南北問題 66	990円のジーンズがつくられるのはなぜ？	合同出版	書籍
189	2-0 南北問題 67	ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら 第6版	開発教育協会	ブックレット
190	2-0 南北問題 68	コーヒーカップの向こう側 [2021改訂版]	開発教育協会	ブックレット
191	2-0 南北問題 69	基本アクティビティ集5ー服・ファッション	開発教育協会	ブックレット
192	2-1 南北問題 1	徹底解剖100円ショップ 日常化するグローバルリゼーション	アジア太平洋資料センター	ビデオ
193	2-1 南北問題 2	あぶない野菜 グローバル化する食卓	アジア太平洋資料センター	ビデオ
194	2-1 南北問題 3	奪われたエビ	アジア太平洋資料センター	ビデオ
195	2-1 南北問題 4	エビの向こうにアジアが見える	アジア太平洋資料センター	ビデオ
196	2-1 南北問題 5	コーヒーの秘密 南北問題が見えてくる！	アジア太平洋資料センター	ビデオ
197	2-1 南北問題 6	種子をままれ！ アグリビジネスとたたかうインド農民	アジア太平洋資料センター	ビデオ
198	2-1 南北問題 7	バナナ植民地・フィリピン	アジア太平洋資料センター	ビデオ
199	2-1 南北問題 8	ゴミを生かす人びと	アジア太平洋資料センター	ビデオ
200	2-1 南北問題 9	路上の子どもたち ブラジル・ストリートチルドレンの闘い	アジア太平洋資料センター	ビデオ
201	2-1 南北問題 10	地球データマップ	NHK	ビデオ
202	2-1 南北問題 11	つながっている世界 今日からできることってなんだろう？	和歌山県人権啓発センター	CD
203	2-1 南北問題 12	身近なモノを通して考える、世界の貧困・格差・環境 私たちの暮らしと世界のつながり	関西 NGO 協議会	DVD
204	2-1 南北問題 13	あいのり「緑の革命」	日本国際飢餓対策機構	DVD
205	2-1 南北問題 14	ゴンドールのやさしい光 パワーポイント版	日本国際飢餓対策機構	DVD
206	2-1 南北問題 15	バイオ燃料 畑でつくるエネルギー	アジア太平洋資料センター	DVD
207	2-1 南北問題 16	食べるためのマグロ売るためのマグロ	アジア太平洋資料センター	DVD
208	2-1 南北問題 17	パームオイル	アジア太平洋資料センター	DVD
209	2-1 南北問題 18	懐かしい未来～ラダックに学ぶこと & 地域から始まる未来：グローバル経済を超えて	なつみら SHOP	DVD
210	2-1 南北問題 19	フードインク		DVD
211	2-1 南北問題 20	おじいさんと草原の小学校	アミューズソフトエンタテインメント	DVD
212	2-1 南北問題 21	もっと！フェアトレード 世界につながる私たちの暮らし	PARC	DVD
213	2-1 南北問題 22	スマホの真実 紛争鉱物と環境破壊とのつながり / ウェイク・アップ・コール	PARC	DVD
214	2-1 南北問題 23	薬は誰のものか エイズ治療薬と大企業の特許権	PARC	DVD
215	2-1 南北問題 24	コンビニの秘密 便利で快適な暮らしの裏で	PARC	DVD
216	2-1 南北問題 25	種子（たね）—みんなのもの？ それとも企業の所有物？	PARC	DVD
217	2-1 南北問題 26	甘いバナナの苦い現実	PARC	DVD
218	2-1 南北問題 27	最後の一滴まで ヨーロッパの隠された水戦争	PARC	DVD
219	3-0 平和 1	世界を変えるお金の使い方	ダイヤモンド社	書籍
220	3-0 平和 2	戦争をやめさせ環境破壊をくいとめる新しい社会のつくり方	合同出版	書籍
221	3-0 平和 3	〔図説〕世界の紛争地域	PHP 研究所	書籍
222	3-0 平和 4	ほんのすこしの勇気から 難民のオレアちゃんがおしえてくれたこと	求龍堂	書籍
223	3-0 平和 5	母さん、ぼくは生きてます	マガジンハウス	書籍
224	3-0 平和 6	正直な気持ちを話そう イスラエル、パレスチナのリアル・ライフ	たちばな出版	書籍
225	3-0 平和 7	地雷の村で「寺子屋」づくり	PHP 研究所	書籍
226	3-0 平和 8①②	Talk for Peace! もっと話そう！	開発教育協議会	ブックレット
227	3-0 平和 9	アフガニスタンから来たモハメッド君のおはなし	つげ書房新社	書籍
228	3-0 平和 10	ぼくの見た戦争 2003年イラク	ポプラ社	書籍
229	3-0 平和 11	Peace Archives 平和ミュージアム (DVD付)	岩波書店	書籍・DVD
230	3-0 平和 12	なんみん 難民理解のためのワークブック 故郷をはなれて	難民事業本部	ブックレット
231	3-0 平和 13	増補改訂版 Talk for Peace もっと話そう！ 平和を築くためにできること	開発教育協会	ブックレット
232	3-0 平和 14	アジアのこころ (英訳付)	自由国民社	絵本
233	3-0 平和 15	サニーのおねがい 地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本
234	3-0 平和 16	サニー カンボジアへ 続・地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
235	3-0 平和 17	サニー ボスニア・ヘルツェゴビナへ 続々・地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本
236	3-0 平和 18	サニー アフガニスタンへ 心をこめて地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本
237	3-0 平和 19	難民と地雷 全3巻	草土文化	書籍
238	3-0 平和 20	平和のアクティビティブック	YMCA	ブックレット
239	3-0 平和 21	ポーポキ、平和って、なに色?	Eピック	絵本
240	3-0 平和 22	イマジン9 想像してごらん、戦争のない世界を	合同出版	絵本
241	3-0 平和 23	ほんのすこしの勇気から 難民のオレアちゃんがおしえてくれたこと	求龍堂	書籍
242	3-0 平和 24	クラスター爆弾なんてもういらない。世界から兵器をなくすみんなの願い	合同出版	書籍
243	3-0 平和 25	岩波 DVD ブック Peace Archives 東京・ゲルニカ・重慶 空襲から平和を考える	岩波書店	書籍・DVD
244	3-0 平和 26	創造的 (クリエイティブ) に対立解決一教え方ガイドー	開発教育協会・立教大学	書籍
245	3-0 平和 27	子どもとできる創造的な対立解決一実践ガイドー	開発教育協会	書籍
246	3-0 平和 28	井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法	講談社	書籍
247	3-0 平和 29	『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』	朝日出版社	書籍
248	3-0 平和 30	ピースフルな子どもたち 戦争・暴力・いじめを越えて	せせらぎ出版	書籍
249	3-0 平和 31	大量破壊兵器、カラシニコフを世界からなくす方法	合同出版	書籍
250	3-0 平和 32	ぼくらのアフリカに戦争がなくなるのはなぜ?	合同出版	書籍
251	3-0 平和 33	さよなら紛争 (14歳の世渡り術)	河出書房新社	書籍
252	3-0 平和 34	ダイヤモンドはほんとうに美しいのか?	合同出版	書籍
253	3-0 平和 35	ビデオ・メッセージでむすぶアジアと日本ーわたしがやってきた戦争のつたえ方 (教科書に書かれなかった戦争)	梨の木舎	書籍
254	3-0 平和 36	へいわってどんなこと? 日・中・韓平和絵本	童心社	絵本
255	3-0 平和 37	開発教育 基本アクティビティ集2 難民	開発教育協会	ブックレット
256	3-1 平和 1	戦争の傷後 Legacies of War	国連広報センター	ビデオ
257	3-1 平和 2	難民女性	UNHCR	ビデオ
258	3-1 平和 3	難民になるって、どういうこと?	UNHCR	ビデオ
259	3-1 平和 4	難民もみんな同じ地球人	UNHCR	ビデオ
260	3-1 平和 5	世界の難民はどこに 2004年 GLOBAL VIEW	UNHCR	ビデオ
261	3-1 平和 6	ほんのちょっと変えてみよう	UNHCR	ビデオ
262	4-0 環境 1	もうひとつの日本地図	野草社	書籍
263	4-0 環境 2	1秒の世界	ダイヤモンド社	書籍
264	4-0 環境 3	地球がもし100cmの球だったら	世界文化社	書籍
265	4-0 環境 4	地球では1秒間にサッカー場1面分の緑が消えている	マガジンハウス	書籍
266	4-0 環境 5	あなたが世界を変える日	学陽書房	書籍
267	4-0 環境 6	地球買いモノ白書	コモンズ	書籍
268	4-0 環境 7	21世紀の子どもたちが地球を救う	ブロンズ新社	書籍
269	4-0 環境 8	ファンリテーター入門	つげ書房新社	書籍
270	4-0 環境 9	私にできることは、なんだろう	ascom	書籍
271	4-0 環境 10	にもの木のある村 (ベンガル語訳付)	大阪国際交流センター	絵本
272	4-0 環境 11	森におかえり (英訳付)	自由国民社	絵本
273	4-0 環境 12	森が海をつくる (英訳付)	自由国民社	絵本
274	4-0 環境 13	空気はだれのもの? (英訳付)	自由国民社	絵本
275	4-0 環境 14	ジェイクの海のなかまたち (英訳付)	自由国民社	絵本
276	4-0 環境 15	ホテルのくる町 (英訳付)	自由国民社	絵本
277	4-0 環境 16	エレナとダフニ (英訳付)	自由国民社	絵本
278	4-0 環境 17	森の暮らしの記憶 (英訳付)	自由国民社	絵本
279	4-0 環境 18	「私たちのピン川」 北タイ環境教育カリキュラム	開発教育協会	ブックレット
280	4-0 環境 19	食べものから考える環境教育ガイドブック FOOD	エコ・コミュニケーションセンター	ブックレット
281	4-0 環境 20	コミュニティー・エンパワーメント	エコ・コミュニケーションセンター	ブックレット
282	4-0 環境 21	環境教育推進ハンドブック	国際理解教育センター	ブックレット
283	4-0 環境 22	地球のみかた 地球について学ぶカリキュラム (生徒用)	国際理解教育センター	ブックレット
284	4-0 環境 23	地球のみかた 地球について学ぶカリキュラム	国際理解教育センター	ブックレット
285	4-0 環境 24	未来を学ぼう わたしと地球を結ぶ価値観とビジョン	国際理解教育センター	ブックレット
286	4-0 環境 25①②	パーム油のはなし 「地球にやさしい」ってなんだろう?	開発教育協会	ワークキット
287	4-0 環境 26	みみずのカーロ シェーファー先生の自然の学校	合同出版	書籍
288	4-0 環境 27	図解 地球の真実 (別冊宝島 1397)	宝島社	書籍
289	4-0 環境 28	もっと話そう! エネルギーと原発のこと 参加型で学び合うための16の方法	開発教育協会	書籍
290	4-0 環境 29	パーム油の話 「地球にやさしい」ってなんだろう? 改訂版	開発教育協会	ワークキット
291	4-0 環境 30	水から広がる学び アクティビティ 20	開発教育協会	ワークキット
292	4-0 環境 31	SDGsと環境教育	学文社	書籍
293	4-0 環境 32	気候変動 開発教育アクティビティ集3	開発教育協会	ブックレット
294	4-0 環境 33	プラスチックこみ 開発教育アクティビティ集4	開発教育協会	ブックレット
295	4-0 環境 34	パーム油のはなし1~「地球にやさしい」ってなんだろう? ~<2018年改定版>	開発教育協会	ブックレット
296	4-0 環境 35	パーム油のはなし2	開発教育協会	ブックレット
297	4-1 環境 1	森はどこへ行く オーストラリアの原生林が日本の紙になるまで	アジア太平洋資料センター	ビデオ
298	4-1 環境 2	緑の砂漠 植林が環境を破壊する	アジア太平洋資料センター	ビデオ
299	4-1 環境 3	切り売りされるタイ ブーケット島の観光開発	アジア太平洋資料センター	ビデオ
300	4-1 環境 4	いつかこの木に見守られて タイ植林体験記	オイスカ	ビデオ
301	4-1 環境 5	緑の革命「あいのり」		ビデオ
302	4-1 環境 6	ペットボトルの水	アジア太平洋資料センター	DVD
303	4-1 環境 7	世界をめぐる電子ゴミ	アジア太平洋資料センター (PARC)	DVD
304	4-1 環境 8	ハードレイン・バンドラの箱から降り注ぐ放射能	アジア太平洋資料センター (PARC)	DVD
305	4-1 環境 9	プラスチックこみ 日本のリサイクル幻想	アジア太平洋資料センター (PARC)	DVD
306	5-0 人権 1	識字 BOX	国際識字年推進和泉連絡会	ワークキット・カルタ・ビデオ
307	5-0 人権 2	人権教育ファシリテーター・ハンドブック 参加型「気づきから築きへ」プログラム	国際理解教育センター	ブックレット
308	5-0 人権 3	いっしょに考えて! 人権 人権教育ファシリテーターハンドブック 発展編	国際理解教育センター	ブックレット
309	5-0 人権 4	いっしょにすすめよう! 人権 人権教育ファシリテーターハンドブック 実践編	国際理解教育センター	ブックレット
310	5-0 人権 5	人権教育のためのコンパス [羅針盤]	明石書店	書籍
311	5-0 人権 6	同和問題・人権問題学習教材 (パート4) こうもりくん	滋賀県解放県民センター	ブックレット
312	5-0 人権 7	国際理解教育と人権	開放出版社	書籍

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
313	5-0 人権 8	ブレノス・ディアス・ニッポン ～外国人が生きる「もうひとつの日本」～	ラティーナ	書籍
314	5-0 人権 9	知っていますか？ 死刑と人権 一問一答	解放出版社	書籍
315	5-0 人権 10	非核と先住民族の独立をめざして	現代人文社	ブックレット
316	5-0 人権 11	デカセーギ 逆流する日系ブラジル人	草思社	書籍
317	5-0 人権 12	米軍に土地を奪われた沖縄人	新読書社	書籍
318	5-0 人権 13	ええぞ、カルロス	大阪市立総合生涯学習センター	絵本
319	5-0 人権 14	チョコレートから世界が見える人権を基盤にした ESD 教材	ヒューライツ大阪	書籍
320	5-0 人権 15	『人権で世界を変える 30 の方法』(ヒューマンライツ・ナウ編)	合同出版	書籍
321	5-0 人権 16	あなたとわたしの幸せを築く世界人権宣言 世界人権宣言	世界人権宣言大阪連絡会議	ブックレット
322	5-0 人権 17	ヘイトスピーチとたたかう！	岩波書店	書籍
323	5-0 人権 18	人権教育指導資料集 人権教育を進めるために	長野県教育委員会	書籍
324	5-0 人権 19	地球市民の人権教育ー15歳からのレッスンプラン	解放出版社	書籍
325	5-0 人権 20	多様性の学級づくり 人権教育アクティビティ集	解放出版社	書籍
326	5-0 人権 21	外国人はなぜ消防士になれないかー公的な国籍差別の撤廃に向けてー	田畑書店	書籍
327	5-0 人権 22	ちがいでキドキ多文化共生ナビー在日外国人教育実践プラン集～	大阪府在日外国人教育研究協議会	書籍
328	5-0 人権 23	ダイバーシティ・トレーニング・ブック 多様性研修のてびき	解放出版社	書籍
329	5-0 人権 24	むこう岸には	ほるぷ出版	絵本
330	5-0 人権 25	鳥 よくある物語	飛鳥新社	絵本
331	5-0 人権 26	日常生活に埋め込まれたマイクロアグレッションー人種、ジェンダー、性的指向:マイノリティに向けられる無意識の差別	明石書店	書籍
332	5-0 人権 27	無意識のバイアスー人はなぜ人種差別をするのか	明石書店	書籍
333	5-0 人権 28	差別はたいてい悪意のない人がする	大月書店	書籍
334	5-0 人権 29	ヘイトをのりこえる教室 ともに生きるためのレッスン	大月書店	書籍
335	5-0 人権 30	これからの社会を生きていくための人権リテラシー 高専発! 書く・話す・考えるワークブック	北樹出版	書籍
336	5-1 人権 1	国際人権を知っていますか ～国連と市民のとりのりくみ～	ヒューライツ大阪	ビデオ
337	5-1 人権 2	自立をめざして ～アジアの女性とこどもたち～	ヒューライツ大阪	ビデオ
338	5-1 人権 3	日本の国際化と人権 ～違いを認めあう地域社会を～	ヒューライツ大阪	ビデオ
339	5-1 人権 4	女たちが語るインド	アジア太平洋資料センター	ビデオ
340	5-1 人権 5	もうひとつの戦争 インドの人口政策と女性たち	アジア太平洋資料センター	ビデオ
341	5-1 人権 6	映画ジャビルカ日本語版 私たちの電気がアボリジニの大地を壊す	アジア太平洋資料センター	ビデオ
342	5-1 人権 7	ミナ笑顔 37言語収録版 DVD	ACCU	DVD
343	5-1 人権 8	DVD もうひとつのツーリズム「先住民族エコツアーの始動」NGO/NPO キャンペーンハンドブック	NPO 法人さっぽろ自由学校「遊」	DVD
344	6-0 英語教育 1	JAPAN ALMANAC 2005 英和対訳データ年鑑	朝日新聞社	書籍
345	6-0 英語教育 2	公立小学校でやってみよう! 英語	草木文化	書籍
346	6-0 英語教育 3	総合英語:地球市民として生きる	三修社	ブックレット
347	6-0 英語教育 4	英語で国際理解教育 (CD付) 小学1・2年版	小学館	書籍・CD
348	6-0 英語教育 5	英語で国際理解教育 (CD付) 小学3・4年版	小学館	書籍・CD
349	6-0 英語教育 6	英語で国際理解教育 (CD付) 小学5・6年版	小学館	書籍・CD
350	6-0 英語教育 7	小学校英語の授業プラン つくって調べる地球環境 (CD付)	小学館	書籍・CD
351	6-0 英語教育 8	小学生の英会話活動 ～ゲームと歌あそび～	小学館	書籍
352	6-0 英語教育 9	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい! 人間について	金の星社	絵本
353	6-0 英語教育 10	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい! 平和について	金の星社	絵本
354	6-0 英語教育 11	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい! 環境について	金の星社	絵本
355	6-0 英語教育 12	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい! いろいろな文化	金の星社	絵本
356	6-0 英語教育 13	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい! 世界の国々	金の星社	絵本
357	6-0 英語教育 14	えほんで楽しむ英語の世界	一声社	書籍
358	6-0 英語教育 15	アメリカの小学校ではこうやって英語を教えている	径書房	書籍
359	6-0 英語教育 16	CAN YOU FIND ME?	ACCU	絵本
360	6-0 英語教育 17	はじめての英語の歌ー歌でおぼえるらくらくイングリッシュ	学研マーケティング	書籍
361	6-0 英語教育 18	ヘンリーおじさんの英語でレッスンができる本ーネイティブが教える、子ども英語教室フレーズ集	アルク	書籍
362	6-0 英語教育 19	小学校 テーマで学ぶ英語活動 BOOK1	三友社出版	書籍
363	6-0 英語教育 20	和の行事えほん Annual Events in Japan Spring & Summer	Ehon House	書籍
364	6-0 英語教育 21	和の行事えほん Annual Events in Japan Autumn & Winter	Ehon House	書籍
365	6-0 英語教育 22①	your world 英語テキスト	サクソコートパブリッシング	書籍
366	6-0 英語教育 22②	your world 英語テキスト 別売指導用 CD	サクソコートパブリッシング	CD-ROM
367	6-0 英語教育 23①	your world 国際理解テキスト	サクソコートパブリッシング	書籍
368	6-0 英語教育 23②	your world 国際理解テキスト 別売指導用 CD	サクソコートパブリッシング	CD-ROM
369	6-0 英語教育 24	チャレンジ! キッズ スピーチ 1 できるよ! はじめてのスピーチ	大月書店	書籍
370	6-0 英語教育 25	チャレンジ! キッズ スピーチ 2 平和をもとめた子どもたち	大月書店	書籍
371	6-0 英語教育 26	チャレンジ! キッズ スピーチ 3 子どもの権利をうったえる	大月書店	書籍
372	7-0 多文化 1	My name is... 世界にひとつだけの名前	角川書店	書籍
373	7-0 多文化 2	日本のなかの世界	新幹社	書籍
374	7-0 多文化 3	多文化共生のジレンマ	明石書店	書籍
375	7-0 多文化 4	多文化共生の学校づくり	明石書店	書籍
376	7-0 多文化 5	多文化共生のまちづくり	明石書店	書籍
377	7-0 多文化 6	多文化教育 多様性のための教育学	明石書店	書籍
378	7-0 多文化 7	幼児のための多文化理解教育	明石書店	書籍
379	7-0 多文化 8	多文化教育を拓く	明石書店	書籍
380	7-0 多文化 9	多文化・人権教育学校をつくる	明石書店	書籍
381	7-0 多文化 10	雨森芳洲と朝鮮通信使かるた	雨森芳洲庵	かるた
382	7-0 多文化 11	歴史教科書 在日コリアンの歴史	明石書店	書籍
383	7-0 多文化 12	滋賀のなかの朝鮮	明石書店	書籍
384	7-0 多文化 13	外国人のためのお弁当 (3ヶ国語:日・中・英語)	関西生命線	書籍
385	7-0 多文化 14	多文化共生保育 Q&A	大阪保育子育て人権情報研究センター	ブックレット
386	7-0 多文化 15	アフリカ 理解ハンドブックーアフリカと私たち	アフリカ日本協議会	ブックレット
387	7-0 多文化 16	くらべてみよう! 日本と世界の 食べ物と文化	講談社	書籍
388	7-0 多文化 17	パパラギ	立風書房	絵本
389	7-0 多文化 18	世界のあいさつ	福音館書店	絵本
390	7-0 多文化 19	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ1 アフリカドレス	明石書店	書籍

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
391	7-0 多文化 20	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ2 アフリカンキッチン	明石書店	書籍
392	7-0 多文化 21	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ3 アフリカンリビング	明石書店	書籍
393	7-0 多文化 22	たくさんのふしぎ傑作集 手で食べる?	福音館書店	絵本
394	7-0 多文化 23	たくさんのふしぎ傑作集 いっぱんの鉛筆のむこうに	福音館書店	絵本
395	7-0 多文化 24	世界のじゃんけん	今人舎	書籍
396	7-0 多文化 25	世界の外あそび	今人舎	書籍
397	7-0 多文化 26	韓国・朝鮮と出会おう	国土社	書籍
398	7-0 多文化 27	中国と出会おう	国土社	書籍
399	7-0 多文化 28	フィリピンと出会おう	国土社	書籍
400	7-0 多文化 29	ブラジルと出会おう	国土社	書籍
401	7-0 多文化 30	多文化子どもの歌集 (CD 付)	明石書店	ブックレット・CD
402	7-0 多文化 31	朝鮮をどう教えるか	解放出版社	書籍
403	7-0 多文化 32	オーストラリア発見 (対訳本・ビデオ 2 本付)	豪日交流基金	ブックレット・ビデオ
404	7-0 多文化 33	いろいろな国・いろいろなことば 全6巻 (ビデオ付)	ポプラ社	絵本・ビデオ
405	7-0 多文化 34	ひょうたん島問題 ～多文化共生をめざして～ (CD 付)	デジタルマジック	ワークキット
406	7-0 多文化 35	シミュレーション教材「ひょうたん島問題」	明石書店	書籍
407	7-0 多文化 36①②	ブラジルボックス	滋賀県国際協会	ワークキット
408	7-0 多文化 37①②	かるた “わたしん家の食事から”	滋賀県国際協会	ワークキット
409	7-0 多文化 38	多文化共生キーワード事典	明石書店	書籍
410	7-0 多文化 39	ニューカマーの子どもと学校文化	勁草書房	書籍
411	7-0 多文化 40	外国人の子どもと日本の教育	東京大学出版会	書籍
412	7-0 多文化 41	ブエノス・ディアス、ニッポンー外国人が生きる「もうひとつのニッポン」	ラティーナ	書籍
413	7-0 多文化 42	多文化保育論	学文社	書籍
414	7-0 多文化 43	乳幼児とその家族への早期支援	北大路書房	書籍
415	7-0 多文化 44	新版 シミュレーション教材「ひょうたん島問題」	明石書店	書籍
416	7-0 多文化 45	多文化共生社会と外国人コミュニティの力	現代人文社	書籍
417	7-0 多文化 46	顔の見えない定住化	名古屋大学出版会	書籍
418	7-0 多文化 47	「多文化パワー」社会ー多文化共生を超えて	明石書店	書籍
419	7-0 多文化 48	まんが クラスメイトは外国人 多文化共生20の物語	明石書店	書籍
420	7-0 多文化 49	世界あちこちゆかいな家めぐり	福音館書店	書籍
421	7-0 多文化 50	トイレのおかげ	福音館書店	書籍
422	7-0 多文化 51	絵本で育てる情報分析力	一声社	書籍
423	7-0 多文化 52	多文化共生社会の保育者ーぶつかってもだいじょうぶ	北大路書房	書籍
424	7-0 多文化 53	異文化コミュニケーションー新・国際人への条件	有斐閣選書	書籍
425	7-0 多文化 54	絵本 世界の食事①<フランスのごはん>	農文協	書籍
426	7-0 多文化 55	絵本 世界の食事②<インドのごはん>	農文協	書籍
427	7-0 多文化 56	絵本 世界の食事③<韓国のごはん>	農文協	書籍
428	7-0 多文化 57	絵本 世界の食事④<イタリアのごはん>	農文協	書籍
429	7-0 多文化 58	絵本 世界の食事⑤<メキシコのごはん>	農文協	書籍
430	7-0 多文化 59	絵本 世界の食事⑥<ドイツのごはん>	農文協	書籍
431	7-0 多文化 60	絵本 世界の食事⑦<ブラジルのごはん>	農文協	書籍
432	7-0 多文化 61	絵本 世界の食事⑧<中国のごはん>	農文協	書籍
433	7-0 多文化 62	絵本 世界の食事⑨<タイのごはん>	農文協	書籍
434	7-0 多文化 63	絵本 世界の食事⑩<トルコのごはん>	農文協	書籍
435	7-0 多文化 64	絵本 世界の食事⑪<モンゴルのごはん>	農文協	書籍
436	7-0 多文化 65	絵本 世界の食事⑫<フィンランドのごはん>	農文協	書籍
437	7-0 多文化 66	絵本 世界の食事⑬<ベトナムのごはん>	農文協	書籍
438	7-0 多文化 67	絵本 世界の食事⑭<スペインのごはん>	農文協	書籍
439	7-0 多文化 68	絵本 世界の食事⑮<ペルーのごはん>	農文協	書籍
440	7-0 多文化 69	The World of Street Food Easy quick meals to cook at home	ニュー・インターナショナル・ジャパン	書籍
441	7-0 多文化 70	原木のある森 コーヒーのはじまりの物語	アフリカ理解プロジェクト	書籍
442	7-0 多文化 71	非識字体験ゲーム 「ここは、何色?」「はじめてのお見舞い」	滋賀県国際協会	ワークキット
443	7-0 多文化 72	「言葉がわからない」体験ゲーム 何が起った? (震災編)	滋賀県国際協会	ワークキット
444	7-0 多文化 73	日本と世界のおもしろことわざ～ことわざで文化を比較しよう～ 第1巻 生きる知恵	学研教育出版	書籍
445	7-0 多文化 74	日本と世界のおもしろことわざ～ことわざで文化を比較しよう～ 第2巻 人情	学研教育出版	書籍
446	7-0 多文化 75	日本と世界のおもしろことわざ～ことわざで文化を比較しよう～ 第3巻 損得と運	学研教育出版	書籍
447	7-0 多文化 76	日本と世界のおもしろことわざ～ことわざで文化を比較しよう～ 第4巻 才能と経験	学研教育出版	書籍
448	7-0 多文化 77	日本と世界のおもしろことわざ～ことわざで文化を比較しよう～ 第5巻 世の中	学研教育出版	書籍
449	7-0 多文化 78	日本と世界のおもしろことわざ～ことわざで文化を比較しよう～ 第6巻 ことわざのいろいろ	学研教育出版	書籍
450	7-0 多文化 79	私も「移動する子ども」だった 異なる言語の間で育った子どもたちのライフストーリー	くろしお出版	書籍
451	7-0 多文化 80	在日コリアン女性 20 人の軌跡	明石書店	書籍
452	7-0 多文化 81	ぐずぐず言わせて! わたしらの居場所 「わたしのこと」シリーズ vol.2	(財) 神奈川国際交流協会	書籍
453	7-0 多文化 82	先住民族と ESD	立教大学 ESD 研究センター	書籍
454	7-0 多文化 83	続・先住民族と ESD	立教大学 ESD 研究センター	書籍
455	7-0 多文化 84	教材「CHAMPURREANDO ～世界のウチナンチュ発! 多文化共生」	NPO 法人沖繩 NGO センター	教材セット
456	7-0 多文化 85	世界のウチナンチュかるたチャンプレアンド 日本語+英語版	NPO 法人沖繩 NGO センター	カルタ
457	7-0 多文化 86	3・11 後の多文化家族	明石書店	書籍
458	7-0 多文化 87	外国にルーツを持つ子どもたち 思い・制度・展望	(財) アジア・太平洋人権情報センター	書籍
459	7-0 多文化 88	いつだって、そばにいるよ。	NTT 出版	書籍
460	7-0 多文化 89	未来をつくる教育 ESDー持続可能な多文化社会をめざして	明石書店	書籍
461	7-0 多文化 90	異文化間教育ー文化間移動と子どもの教育	明石書店	書籍
462	7-0 多文化 91	言葉図鑑 なまえのことばとくらしのことば1 にほんご・えいご・ポルトガルご・スペインご	偕成社	絵本
463	7-0 多文化 92	言葉図鑑 なまえのことばとくらしのことば2 にほんご・えいご・ポルトガルご・スペインご	偕成社	絵本
464	7-0 多文化 93	フィリピンがあちゃん奮闘記 in ジャパン	文化社	書籍
465	7-0 多文化 94	異文化理解入門	平凡社	書籍
466	7-0 多文化 95	外国人から見たニッポン	ディスカヴァー・トゥエンティワン	書籍
467	7-0 多文化 96	Playtime	Oxfam	英語絵本
468	7-0 多文化 97	Bicycles	Oxfam	英語絵本

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
469	7-0 多文化 98	Home	Oxfam	英語絵本
470	7-0 多文化 99	Our Animals	Oxfam	英語絵本
471	7-0 多文化 100	At School	Oxfam	英語絵本
472	7-0 多文化 101	ぼく、いいもの いっぱい～日本語で学ぶ子どもたち～	子どもの未来社	絵本
473	7-0 多文化 102	わたしが外人だったころ	福音館書店	絵本
474	7-0 多文化 103	ビビのアフリカ旅行	ポプラ社	書籍
475	7-0 多文化 104	まんがで学ぶ 世界の宗教	あさ出版	書籍
476	7-0 多文化 105	絵本で学ぶイスラームの暮らし	あすなろ書房	絵本
477	7-0 多文化 106	アラブから こんにちは 灼熱、イスラーム、魔人、子育て—未知なるアラブの生活事情	国書刊行会	書籍
478	7-0 多文化 107	アイ アム ジャパニーズ これがハーフ芸人の生きる道	ワニブックス	書籍
479	7-0 多文化 108	ハーフが美人なんて妄想ですから！！ 困った「純ジャバ」との闘いの日々	中央公論新社	書籍
480	7-0 多文化 109①②	わたしん家の食事から カードゲーム版	(公財) 滋賀県国際協会	ワークキット
481	7-0 多文化 110	境界に生きる 暮らしの中の多文化共生	解放出版社	書籍
482	7-0 多文化 111	同級生は外国人!?①「どうしてルールが守れないの？」	汐文社	書籍
483	7-0 多文化 112	同級生は外国人!?②「どうして頭にスカーフを巻いているの？」	汐文社	書籍
484	7-0 多文化 113	同級生は外国人!?③「日本がきらいなのかな？」	汐文社	書籍
485	7-0 多文化 114	いのり—聖なる場所	光村教育図書	絵本
486	7-0 多文化 115	世界のお弁当～心をつなぐ味レシピ 55	河出書房新社	写真集
487	7-0 多文化 116	おんなし、おんなじ！でも、ちょっとちがう！	光村教育図書	絵本
488	7-0 多文化 117	アフリカ少年が日本で育った結果	毎日新聞出版	書籍
489	7-0 多文化 118	まんが クラスメイトは外国人 課題編 私たちが向き合う多文化共生の現実	明石書店	書籍
490	7-0 多文化 119	ふたりのサンドウィッチ	TO ブックス	絵本
491	7-0 多文化 120	スポーツでひろげる国際理解3 国境をこえるスポーツ	文溪堂	書籍
492	7-0 多文化 121	国籍の？(ハテナ)がわかる本	太郎次郎社エディタス	書籍
493	7-0 多文化 122	ランカ にほんにやってきた おんなのこ	偕成社	絵本
494	7-0 多文化 123	移民と日本社会—データで読み解く実態と将来像	中公新書	書籍
495	7-0 多文化 124	「移民時代」の多文化共生論—想像力・創造力を育む 14 のレッスン	明石書店	書籍
496	7-0 多文化 125	故郷の味は海をこえて 「難民」として日本に生きる	ポプラ社	書籍
497	7-1 多文化 1	アニニョハシムニカ 素顔の韓国 サワデリカー ほほ笑みの国・タイ	アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ
498	7-1 多文化 2	スラマシアン インドネシアの子どもたち	アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ
499	7-1 多文化 3	マブハイ 陽気なフィリピンの子どもたち	アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ
500	7-1 多文化 4	となりに生きる外国人	アジア太平洋資料センター	ビデオ
501	7-1 多文化 5	国際理解 はじめの一歩 インドネシア・バリ島編	インドネシア教育振興会	CD
502	7-1 多文化 6	Ciranda,Cirandinha	多文化共生センター	CD
503	7-1 多文化 7	孤独なツバメたち～デカセキの子供に生まれて～	TO ブックス	DVD
504	7-1 多文化 8	ナニジン? - トモダチ作戦 -	(公財) とよなか国際交流協会	DVD
505	7-1 多文化 9	こんばんは 墨田区立文花中学校夜間学級	「こんばんは」全国上映	
506	8-0 写真 1	百年の愚行	紀伊国屋書店	書籍
507	8-0 写真 2	「ゴミと宝石」 フィリピン、スモークマウンテンの子供たち	第三書館	書籍
508	8-0 写真 3	イラクに生きる I love Iraq	国土社	書籍
509	8-0 写真 4	INDIA Fairs&Festivals	学研	書籍
510	8-0 写真 5	Who? 報道されないアフガンの素顔	平和出版	書籍
511	8-0 写真 6	地球の仲間たち フォトランゲージ アメリカ合衆国	開発教育を考える会	ワークキット
512	8-0 写真 7	地球の仲間たち フォトランゲージ エクアドル	開発教育を考える会	ワークキット
513	8-0 写真 8	地球の仲間たち フォトランゲージ エチオピア	開発教育を考える会	ワークキット
514	8-0 写真 9	地球の仲間たち フォトランゲージ ガーナ	開発教育を考える会	ワークキット
515	8-0 写真 10	地球の仲間たち フォトランゲージ コートジボアール	開発教育を考える会	ワークキット
516	8-0 写真 11	地球の仲間たち フォトランゲージ コスタリカ	開発教育を考える会	ワークキット
517	8-0 写真 12	地球の仲間たち フォトランゲージ コロンビア	開発教育を考える会	ワークキット
518	8-0 写真 13	地球の仲間たち フォトランゲージ スリランカ	開発教育を考える会	ワークキット
519	8-0 写真 14	地球の仲間たち フォトランゲージ 中国	開発教育を考える会	ワークキット
520	8-0 写真 15	地球の仲間たち フォトランゲージ ニカラグア	開発教育を考える会	ワークキット
521	8-0 写真 16	地球の仲間たち フォトランゲージ ニジェール	開発教育を考える会	ワークキット
522	8-0 写真 17	地球の仲間たち フォトランゲージ ネパール (ニッキー)	開発教育を考える会	ワークキット
523	8-0 写真 18	地球の仲間たち フォトランゲージ ネパール (ブラサンタ)	開発教育を考える会	ワークキット
524	8-0 写真 19	地球の仲間たち フォトランゲージ ハンガリー	開発教育を考える会	ワークキット
525	8-0 写真 20	地球の仲間たち フォトランゲージ パキスタン	開発教育を考える会	ワークキット
526	8-0 写真 21	地球の仲間たち フォトランゲージ パヌアツ	開発教育を考える会	ワークキット
527	8-0 写真 22	地球の仲間たち フォトランゲージ パプアニューギニア	開発教育を考える会	ワークキット
528	8-0 写真 23	地球の仲間たち フォトランゲージ パラグアイ	開発教育を考える会	ワークキット
529	8-0 写真 24	地球の仲間たち フォトランゲージ ブルガリア	開発教育を考える会	ワークキット
530	8-0 写真 25	地球の仲間たち フォトランゲージ ホンジュラス	開発教育を考える会	ワークキット
531	8-0 写真 26	地球の仲間たち フォトランゲージ ボツワナ	開発教育を考える会	ワークキット
532	8-0 写真 27	地球の仲間たち フォトランゲージ ポリビア	開発教育を考える会	ワークキット
533	8-0 写真 28	地球の仲間たち フォトランゲージ モルディブ	開発教育を考える会	ワークキット
534	8-0 写真 29	地球の仲間たち フォトランゲージ ラオス	開発教育を考える会	ワークキット
535	8-0 写真 30	地球の仲間たち フォトランゲージ ヨルダン	開発教育を考える会	ワークキット
536	8-0 写真 31	地球家族	TOTO 出版	写真書籍
537	8-0 写真 32	続地球家族	TOTO 出版	写真書籍
538	8-0 写真 33	地球の食卓	TOTO 出版	写真書籍
539	8-0 写真 34	祝祭 世界の祭り・民族・文化	クレオ	写真書籍
540	8-0 写真 35	地球人記	福音館書店	写真書籍
541	8-0 写真 36	地球人生活記	福音館書店	写真書籍
542	8-0 写真 37	地球家族 フォトランゲージ版	国際理解教育センター	写真
543	8-0 写真 38①②	地球家族 フォトランゲージ版 (A4 版)	国際理解教育センター	写真
544	8-0 写真 39	地球家族 フォトランゲージ版 (A3 版)	国際理解教育センター	写真
545	8-0 写真 40	地球の食卓 フォトランゲージ (B4 版)	国際理解教育センター	写真
546	8-0 写真 41	MONO 変身図鑑	JICA	写真、CD

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
547	8-0 写真 42	写真集「ギフト」 GIFT to children of Angkor	マガジンハウス	書籍
548	8-0 写真 43	地球の仲間たち CD-Rom 版	開発教育を考える会	CD
549	8-0 写真 44①②	写真で学ぼう！ 地球の食卓 学習プラン10	開発教育協会	写真、解説書
550	8-0 写真 45	地球のごはん 世界30カ国80人のいただきます	TOTO 出版	写真書籍
551	8-0 写真 46	トランクの中の日本 米従軍カメラマンの非公式記録	小学館	写真書籍
552	8-0 写真 47	食べもの記—EATING ON EARTH	福音館書店	写真書籍
553	9-0 メディア 1	ニュースに耳を傾ける ブローバル・エクスプレス第1号	開発教育協会	ブックレット
554	9-0 メディア 2	攻撃を超えて ブローバル・エクスプレス第2号	開発教育協会	ブックレット
555	9-0 メディア 3	難民 ブローバル・エクスプレス第3号	開発教育協会	ブックレット
556	9-0 メディア 4	イラク グローバル・エクスプレス第4号	開発教育協会	ブックレット
557	9-0 メディア 5	戦争報道 ブローバル・エクスプレス第5号	開発教育協会	ブックレット
558	9-0 メディア 6	メディア・リテラシー【入門編】	リベルタ出版	書籍
559	9-0 メディア 7	NIE ワークシート 100例	晩成書房	書籍
560	9-0 メディア 8	時事問題を教室へグローバルエクスプレス(無料ダウンロード版)	開発教育協会	
561	10-0 子ども 1	アジアの子ども	明石書店	書籍
562	10-0 子ども 2	シエラレオネ 5歳まで生きられない子どもたち	アートン	書籍
563	10-0 子ども 3	こどもの権利を買わないで-ブンとミーチャのものごたがり(英訳付)	自由国民社	絵本
564	10-0 子ども 4	「日本の子どもは何をして働いているの?」	国際子ども権利センター	絵本
565	10-0 子ども 5	世界の子どもたち NGOの現場から	明石書店	書籍
566	10-0 子ども 6	ロサーリオの死 -少女の残したもの-	日本ユニセフ協会	書籍
567	10-0 子ども 7	子ども地球白書2002-2003	朔北社	書籍
568	10-0 子ども 8	児童の権利に関する条約	外務省	ブックレット
569	10-0 子ども 9	世界の子どもたちに今おきていること	日本ユニセフ協会	書籍
570	10-0 子ども 10	多発する少女買春 子どもを買う男たち	新評論	書籍
571	10-0 子ども 11	子どもたちのアフリカ	岩波書店	書籍
572	10-0 子ども 12	「ストリートチルドレン・100人の子どもたち」教材パッケージ(ビデオ2本付)	シャプラニール	ワークキット・ビデオ
573	10-0 子ども 13	わたし8歳、カカオ畑で働きつけて	ACE	書籍
574	10-0 子ども 14	ワークショップ『大切なものは何ですか?』〜こどもたちがうつつしたカンボジアの今	イデュショナルサポートセンター[Edu]	ワークキット
575	10-0 子ども 15	スクールセクシャルハラスメント	国際子ども権利センター	書籍
576	10-0 子ども 16	子どもの権利条約カードとユニセフポスターセット		ワークキット
577	10-0 子ども 17	おいしいチョコレートの実態〜働く子どもたちとわたしたちとのつながり〜	ACE	ワークキット
578	10-0 子ども 18	もたないばあさんと考えよう世界のこと	講談社	書籍
579	10-0 子ども 19	ぼくら地球市民1 戦争なんてもうやめて	大月書店	書籍
580	10-0 子ども 20	ぼくら地球市民2 キッズパワーが世界を変える	大月書店	書籍
581	10-0 子ども 21	ぼくら地球市民3 わたしと地球の約束	大月書店	書籍
582	10-0 子ども 22	どこにいるかわかる?	こぐま社	絵本
583	10-0 子ども 23	世界の子どもたちは今—子ども兵士	リブリオ出版	書籍
584	10-0 子ども 24	世界の子どもたちは今—児童労働	リブリオ出版	書籍
585	10-0 子ども 25	世界の子どもたちは今—子どもの人身売買	リブリオ出版	書籍
586	10-0 子ども 26	「ぼくは12歳、路上で暮らしはじめたわけ。—私には何ができますか? その悲しみがなくなる日を夢見て」	合同出版	書籍
587	10-0 子ども 27	子どもの参加を促すガイド	jinne	書籍
588	10-0 子ども 28	貧しい国で女の子として生きるということ 開発途上国からの5つの物語	遊タイム出版	書籍
589	10-0 子ども 29	「世界中の子どもに教育を」キャンペーン2011 女の子と女性の教育	「世界中の子どもに教育を」キャンペーン事務局	ワークキット
590	10-0 子ども 30	おかえり、またあえたね ストリートチルドレン・トトのものごたがり	東京書籍	書籍
591	10-0 子ども 31	ダイアモンドより平和がほしい—子ども兵士・ムリアの告白	汐文社	書籍
592	10-0 子ども 32	このTシャツはどこからくるの?—ファッションの裏側になる児童労働の実態—	(特活) ACE	ワークキット
593	10-0 子ども 33	わたしは13歳、学校に行けず花嫁になる。	合同出版	書籍
594	10-0 子ども 34	ぼくがラーメン たべるときの	教育画劇	絵本
595	10-0 子ども 35	写真でのぞいてみよう-世界で働く子どもの生活	フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	ワークキット
596	10-0 子ども 36	児童労働シミュレーションカードゲーム	フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	ワークキット
597	10-0 子ども 37	わたし8歳、職業、家事使用人	合同出版	書籍
598	10-0 子ども 38	すごいね!みんなの通学路	西村書店	写真絵本
599	10-0 子ども 39	私はどこで生きていけばいいの?	西村書店	写真絵本
600	10-0 子ども 40	世界を変えるために50の小さな革命	太郎次郎エディタス	書籍
601	10-0 子ども 41	世界中の子どもの権利をまもる30の方法	合同出版	書籍
602	10-0 子ども 42	こどもSDGs なぜSDGsが必要なのかわかる本	カンゼン	書籍
603	10-0 子ども 43	世界がぐっと近くなるSDGsとボくらをつなぐ本	学研プラス	書籍
604	10-1 子ども 1	I am child! 働かされる子供たち	ILO	ビデオ
605	10-1 子ども 2	STOP CHILD LABOUR	ILO	ビデオ
606	11-0 地図 1	くらべてわかる世界地図① 暴力の世界地図	大月書店	書籍
607	11-0 地図 2	くらべてわかる世界地図② 学校の世界地図	大月書店	書籍
608	11-0 地図 3	くらべてわかる世界地図③ ジェンダーの世界地図	大月書店	書籍
609	11-0 地図 4	くらべてわかる世界地図④ 福祉の世界地図	大月書店	書籍
610	11-0 地図 5	くらべてわかる世界地図⑤ 文化の世界地図	大月書店	書籍
611	11-0 地図 6	ワールドバンクミニアトラス	シュプリンガー・フェアラーク東京	書籍
612	11-0 地図 7	食料の世界地図	丸善	書籍
613	11-0 地図 8	NHKスペシャル データマップ63億人の地図 いのちの地図帳	アスコム	書籍
614	11-0 地図 9①②	No Longer Down Under	Hallifax	地図
615	11-0 地図 10	世界がみえる 地図の絵本	あすなる書房	絵本
616	11-0 地図 11①②	Mapping our World	Oxfam	ブックレット
617	11-0 地図 12	今がわかる 時代がわかる 世界地図 2003年版	成美堂出版	書籍
618	11-0 地図 13	今がわかる 時代がわかる 世界地図 2005年版	成美堂出版	書籍
619	11-0 地図 14	今がわかる 時代がわかる 日本地図 2005年版	成美堂出版	書籍
620	11-0 地図 15	Hunger Map もう一枚の世界地図	国際連合世界食糧計画	ブックレット
621	11-0 地図 16	Hunger Map ハンガーマップ	国際連合世界食糧計画	ワークキット
622	11-0 地図 17	イエティを探せ	ゆまに書房	絵本
623	11-0 地図 18	ピーター図マッピング	Oxfam	地図
624	11-0 地図 19	世界地図(アフリカ中心)		地図

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
625	11-0 地図 20	<文化の世界地図> 大型地図	グローバルみらい塾	地図
626	11-0 地図 21	<文化の世界地図> 解説冊子	グローバルみらい塾	冊子
627	11-0 地図 22	EARTH at NIGHT 宇宙から見た夜の地球授業指導例 (ポスター) 指導書付き	エネルギー教育全国協議会事務局	地図
628	11-0 地図 23	MAPS 新・世界地図	徳間書店	地図
629	11-0 地図 24	地図でみる日本の外国人 改訂版	ナカニシヤ出版	書籍
630	12-0 国際協力1①②③	JICA フォトランゲージキット	国際協力事業団	ワークキット
631	12-0 国際協力 2	いま私たちにできること	国際協力事業団	ブックレット
632	12-0 国際協力3①②	ミレニアム開発目標 とともに生きる地球市民	外務省	ブックレット
633	12-0 国際協力 4	人口問題 ブリーフィング・キット2001	アジア人口・開発協会	ブックレット
634	12-0 国際協力 5	世界人口白書2002 人々・貧困・ひろがる可能性	アジア人口・開発協会	ブックレット
635	12-0 国際協力 6	世界子供白書2003	ユニセフ	ブックレット
636	12-0 国際協力 7	世界子供白書2004	ユニセフ	ブックレット
637	12-0 国際協力 8	世界子供白書2005 危機に晒される子どもたち	ユニセフ	ブックレット
638	12-0 国際協力 9	世界子供白書2006 存在しない子どもたち	ユニセフ	ブックレット
639	12-0 国際協力10①②	開発のための教育	ユニセフ	ブックレット
640	12-0 国際協力11①②	地球のともだち ユニセフワークブック	ユニセフ	ブックレット
641	12-0 国際協力12①②	「総合的な学習の時間」とユニセフ	ユニセフ	ブックレット
642	12-0 国際協力13	わたしの権利 みんなの権利	ユニセフ	ブックレット
643	12-0 国際協力14①②	子どもの権利条約 カードブック	ユニセフ	ブックレット
644	12-0 国際協力15①②	ユニセフと世界のともだち	ユニセフ	ブックレット
645	12-0 国際協力16①②	国際理解カード	国際協力推進協会	ワークキット
646	12-0 国際協力17	学校と地域がつくる国際理解教育	武蔵野市国際交流協会	ブックレット
647	12-0 国際協力18	学校と地域がつくる国際理解教育 NGO 編	武蔵野市国際交流協会	ブックレット
648	12-0 国際協力19	授業に役立つ総合学習の手引き 平成11年度高校教師海外研修に参加して	国際協力事業団	ブックレット
649	12-0 国際協力20	国際理解教育の手引き 先生が見てきた国際協力の舞台 H12 中学校	国際協力事業団	ブックレット
650	12-0 国際協力21	国際理解教育の手引き 地球を枕に夢を見よう H12 高校	国際協力事業団	ブックレット
651	12-0 国際協力22	国際理解教育の手引き H13 高校	国際協力事業団	ブックレット
652	12-0 国際協力23	国際理解教育の手引き H13 中学校	国際協力事業団	ブックレット
653	12-0 国際協力24	国際理解教育の手引き H14 高校	国際協力事業団	ブックレット
654	12-0 国際協力25	国際理解教育の手引き H15 小学校	国際協力事業団	ブックレット
655	12-0 国際協力26	協力隊体験を伝えよう2 生きる力を育てるワークショップ集	青年海外協力協会	ブックレット
656	12-0 国際協力27	国連ってなあに?	国連広報センター	ブックレット
657	12-0 国際協力28	みんなの国連	国連広報センター	ブックレット
658	12-0 国際協力29	いっしょにやろうよ 国際ボランティア NGO ガイドブック	三省堂	書籍
659	12-0 国際協力30	市民参加で世界を変える	朝日新聞社	書籍
660	12-0 国際協力31	せかいじゅうにおともだちをつくらう	国際協力推進協会	紙芝居
661	12-0 国際協力32	食べものから世界が見える、どこからきたの?	国際協力推進協会	紙芝居
662	12-0 国際協力33	ごはんのこしていいの?	国際協力推進協会	紙芝居
663	12-0 国際協力34	「援助」する前に考えよう 参加型開発と PLA がわかる本	開発教育協会	書籍
664	12-0 国際協力35	国際協力と開発教育—「援助」の近未来を探る	明石書店	書籍
665	12-0 国際協力36	「国際協力」をやってみませんか?仕事として、ボランティアで、普段の生活でも	小学館	書籍
666	12-0 国際協力37	貧しい人を助ける理由 遠くのあの子とあなたのつながり	日本評論社	書籍
667	13-0 韓国文化1	一目で見る韓国	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
668	13-0 韓国文化2	壇君神話	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
669	13-0 韓国文化3	一目で見る韓国の歴史	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
670	13-0 韓国文化4	高句麗への旅	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
671	13-0 韓国文化5	韓国の伝統 (的生活)	太郎次郎社	絵本 (韓英)
672	13-0 韓国文化6	韓国の遊び	太郎次郎社	絵本 (韓英)
673	13-0 韓国文化7	韓国のシンボル	太郎次郎社	絵本 (韓英)
674	13-0 韓国文化8	韓国の礼儀と風習	太郎次郎社	絵本 (韓英)
675	13-0 韓国文化9	韓国へ行こう!	太郎次郎社	絵本 (韓英)
676	13-0 韓国文化10	ソウルへ行こう!	太郎次郎社	絵本 (韓英)
677	13-0 韓国文化11	栗谷李珥	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
678	13-0 韓国文化12	世宗大王	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
679	13-0 韓国文化13	李舜臣	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
680	13-0 韓国文化14	安重根	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
681	13-0 韓国文化15	柳順寛	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
682	13-0 韓国文化16	金九	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
683	13-0 韓国文化17	興夫と懶夫	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
684	13-0 韓国文化18	お日さまとお月さま	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
685	13-0 韓国文化19	青大将ソング	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
686	13-0 韓国文化20	孝行娘沈清	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
687	13-0 韓国文化21	あずき粥婆さんと虎	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
688	13-0 韓国文化22	一粒の粟で結婚した男	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
689	13-0 韓国文化23	五人の力士 (力持ち)	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
690	13-0 韓国文化24	新聞記者が高校生に語る 日本と朝鮮半島 100年の明日	彩流社	書籍
691	13-0 韓国文化25	ユンノリ物語	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
692	13-1 韓国文化1	韓国朝鮮のあいさつの言葉	太郎次郎社	パネル*
693	13-1 韓国文化2	韓国朝鮮の親族呼称	太郎次郎社	パネル*
694	13-1 韓国文化3	韓国朝鮮料理	太郎次郎社	パネル*
695	13-1 韓国文化4	民族衣装と紐の結び方	太郎次郎社	パネル
696	13-1 韓国文化5	初誕生日の服と婚礼服	太郎次郎社	パネル
697	13-1 韓国文化6	千字文	太郎次郎社	パネル*
698	13-1 韓国文化7	ハングル	太郎次郎社	パネル*
699	13-1 韓国文化8	ウリナラ旅行図と半島図	太郎次郎社	パネル*
700	13-1 韓国文化9	生活案内標示・交通安全標識	太郎次郎社	パネル*
701	13-1 韓国文化10	不思議な体	太郎次郎社	パネル*

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
702	13-1 韓国文化 11	図形	太郎次郎社	パネル
703	13-1 韓国文化 12	色	太郎次郎社	パネル
704	13-1 韓国文化 13	数字	太郎次郎社	パネル*
705	13-1 韓国文化 14	動物	太郎次郎社	パネル*
706	13-1 韓国文化 15	果物・野菜	太郎次郎社	パネル*
707	14-0 移民 1	カリナのブラジルとニッポン	JICA 横浜海外移住資料館	紙芝居
708	14-0 移民 2	弁当からミックスプレートへ	JICA 横浜海外移住資料館	紙芝居
709	14-0 移民 3	ハワイにわたった日系移民	JICA 横浜海外移住資料館	紙芝居
710	14-0 移民 4	海を渡った日本人	JICA 横浜海外移住資料館	紙芝居
711	14-0 移民 5	移民カルタ	JICA 横浜海外移住資料館	カルタ
712	14-0 移民 6	目で見るブラジル日本移民の百年	風響社	写真集
713	14-0 移民 7	日本・ブラジル 移民カルタ	JICA 横浜海外移住資料館	カルタ

国際教育 地球市民を地域とともに育てよう Part 22 報告書

発行日 令和6年(2024年)3月
 発 行 公益財団法人滋賀県国際協会
 〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20
 ピアザ淡海2階
 電話 077-526-0931
 FAX 077-510-0601
 E-mail info@s-i-a.or.jp
 URL <https://www.s-i-a.or.jp>
 印 刷 佐々木印刷有限公司



分科会 1

「『子どもの権利』ワークショップ」



分科会 2

「滋賀の歴史から考える多文化共生」



分科会 3

「となりのムスリム・ムスリマ」



分科会 4

「国際教育・多文化共生の必要性
～多国籍化する学校現場から～」